



OUR GOAL IS TO MAKE EVERYONE INVOLVED HAPPY.



**THIRTY FOUR**

**OUR GOAL IS  
TO MAKE EVERYONE  
INVOLVED HAPPY.**





**THIRTY FOUR**

**2020 CATALOGUE**

**INDEX**

イメージをして、テストを繰り返す。工夫に応じてくれるのがアジングの楽しみ（家邊克己）	6
HOW TO AJING -アジングってどうやるの？ どこで釣るの？	8
いつ釣るのがベスト？	9
道具は何が必要？	10
より安全に、快適に楽しむには？	11
軽いルアーを遠くに投げるには？ 魚を見つけるには？	12
アジの基礎知識	13
家邊克己コラム / 自分の考えを検証できる釣り。それがアジング	14
堤防からでも船でも楽しめるアジング	16
アジングは春夏秋冬、多忙な人でも楽しめる	18
34 のもの作り / アジングロッド編	20
ボートアジング編	29
メバリングロッド編	31
ジグヘッド編	32
ワーム編	36
その他の釣具編	40
CIRCLE34	45
海外にも広がる 34 の輪	46













# イメージをして、 テストを繰り返す。 工夫に応じてくれるのが アジングの楽しみ

34 代表  
製品開発責任者

## 家邊克己 KATSUMI YABE

京都出身。幼少の頃から釣りを楽しみ、2011年に株式会社34（サーティフォー）を設立。代表でありながら、今までの経験を活かし製品開発を担当。全国各地で日々開発やテストを行う。アジングの魅力を多くの人々に伝えるその姿は「アジングの伝道師」とも称される。



サイズに関係なく徹底的に楽しませてくれる。それがアジング最大の魅力

昔は大きなアジを釣ることに無中になっていました。大きなアジがいるポイントはこの場所だろうか？ まだグーグルマップが無かった時代、ひたすら走り回り釣具屋さんで餌の釣り人の情報を聞き回り、そこに飛んでいき兎に角釣ってみる。こんなことを毎日のように繰り返していました。

道具もそうでした。どうしても歯が立たないアジがいて、そのアジに対抗するために針からラインまで補強して挑戦しました。最終的にはロッドがもたなくなり、エンジンロッドを用いてみたら感覚が全然悪くてアタリが取れずバラしてばかりで本末転倒(笑)。原点復帰でタックルバランスの重要性をその時に学び、もう少し釣り方を研究しようとした。毎日頭の中はアジのことばかり(笑)。まさにアジジャンキー！ そんなとき、当時のタックルではどうしても釣ることができなかったアジが出現しました。大きなアジではなく、たったの20センチ前後のアジ。それは産卵前のアジで、表層40センチ位の位置を群になって港内をぐるぐると泳ぎ回っていました。食わない記憶ではなく、中々フッキングさせることができない。産卵前のアジはプランクトンしか食べず、しかも食欲が減衰するので非常に厄介です。サビキでさえ釣れず日夜どうすれば釣ることができるとか、寝ても覚めても考え続けました。さらなるジャンキー状態で、思いついたことをすぐに試すべく毎夜高知から八幡浜まで片道170キロを走り試行錯誤。最終的

にはラインがダメということが気がつき、今度はライン探し(笑) 本当に今考えるとアホとしか思えない、でもアホしかやらないことをやったから見つかったのがエステルライン。製造メーカーを探して交渉し、難航しましたが細い号数を製作してもらうことに成功し、見事に釣れないアジが釣れました。

ラインの重用性を痛切に感じたと同時に自分の考えの正しさも実感できました。そして同時に針の形状の大切さに気付きました。その当時のフックはアジングという釣りが存在せず、ほかの釣りのフックの流用でした。既存のフックで対応すること自体に無理があると気付き、とうとうフックの形状まで手を出し始めました。自分で形を考えて現存していた針をライターで炙り、曲げてテストをしました。アジングにはオープンゲイブのフックが必要と考えるようになりました(今はアタリのメカニズムがわかったからオープンゲイブの必要性が別の意味でわかりましたが、その当時は単に針掛かりをよくさせるためにと考えていました)。

なぜここまでアジングという釣りは僕を魅了し続けるのか。色々な釣りをやってきたのにここまで気が狂ったように無中になることはありませんでした。既存の釣りはそれぞれに歴史があり、歴代の諸先輩方が色々考え抜いた末に、ある程度までそのメカニズムが解明されています。我々はその考えを元にして釣るだけでした。しかし、アジングはそういう方がおられず、自分が始まりなのでドンドンのめり込んで行ったのだと思います。やればやるほど疑問が湧き、それを無中になって答えを見つけ、それを繰り返すうちにアジングにおける道具の重要性を学び、海での実戦からしか答えを得

られないという最も重要なことをそのときに知りました。

このアジングという釣りは、僕のようにストイックにのめり込む方、はたまた一人で何も考えずに楽しみたい方、皆で楽しみたい方、人と競いたい方、多くの方に合う楽しみ方があります。仕事終わりの短時間でも味わえる手軽さ、これがアジングの最大の魅力ではないかと思えます。

## 海に潜ることで常識と実際のズレを修正し、それを製品につなげていく

僕は製品を開発する上で必ず行うことがあります。それは水中での確認作業。実際に海に潜ることで、頭の中で考えているイメージと実際の動きのズレを検証し、それによって間違った概念を払拭するわけです。アジングに関して一般で考えられているイメージや常識は間違いが多いように思います。たとえば「ルアーは左右に動かないと魚は反応しない」といった考えを持つ人が多いようですが、実際はそんなことはありません。むしろ動かない方がよいといっても過言ではないのです。そういったことは潜って観察することで鮮明になってきます。ワームを実際に釣っているのと同じ状況でジグヘッドにつけて投げてもらい、その後からジグヘッドとワームの動きをいつも観察します。ある時、後ろから色々な小魚が付いていくワームと付いていかないワームがあることに気がつきました。そこで色々形を変えたワームを投入して観察したところ、動かないワームの方が沢山の魚が後ろから付いて行くことがわかってきました。

色々観察し、突き詰めていくともう少し分かってきたこともあるのですが、小魚も

アジも同じなので最近はそのことをワームの最終基準にしております。実際に目で見たことをダイレクトに商品開発につなげていくのです。

## アジをたくさん釣ることがよりも一匹をどう釣るかが面白い


最近では、アジをたくさん釣ることがよりも「どうやって釣るか」に興味が移っています。たとえばジグヘッドの1g縛り。これは非常に難しく、その一つが強風。風が吹けば、軽量ジグヘッドは飛ばず、沈まない。そこで色々考え工夫をします。投げる方向を変えたり風によるポイントの変化を読んでみたり。人間、必要に迫られると色々アイデアが浮かび対処するようになります。

また飛ばないのなら足下にアジはいないのか、いるならどうやれば釣れるのか、といった発想の転換。すると思いがけないところで釣れたりして新たな発見になります。

この連鎖が面白く、連鎖ゲームのように次から次へと課題が浮き上がり、それに対して答えを出す。そしてその答えに対処するにはこんな道具があったらよいな……と考え、それが製品作りに繋がるわけです。

昔は多く釣ることに楽しみを見出していましたが、今の僕のアジングはいかに一匹を工夫して釣るかということに変化しています。

アジは昔ほど数が釣れなくなってきたおり、一匹を釣るのも難しい。もう昔のように数を沢山釣ったと喜ぶのは少し見当違いではないかと思ったりもしています。それよりも釣れないアジをどのようにして食わせ、いかに釣り上げるか——その方がはるかに面白い。これからのアジングはそのような方向に向かっていくような気がしています。



製品に適したフックを考えるときは、自ら生針を自由に曲げて、イメージをつかんでいくことから始める



# HOW TO AJING

## アジングってどうやるの？

興味はあるけど、アジングっていつどこでやればいいのか？ インターネットには情報がたくさんあるけど、いったんここでおさらい！ アジングを始めるうえで知っておきたい知識を34が伝授します。

イラスト：2g

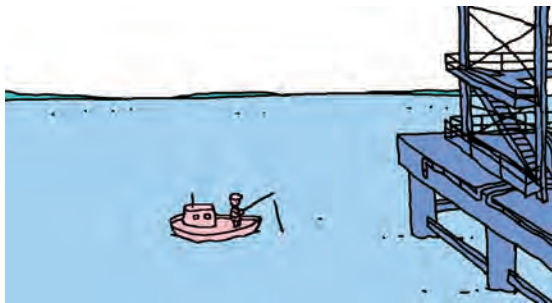
## どこで釣るの？

ボートに乗って海上で釣る！

### 1.OFF SHORE

場所:オフショア/沖合  
方法:チャーターボート

ボートや船に乗って海上で釣る。釣れるポイントはさまざまだが、歩いてはいけない沖堤防や潮の流れがよいポイントを攻略するためにはアジングに慣れた船を選ぶこと。日常的に海が近くなくローカルポイントを探せない人にとってボートアジングはベストな釣り。またボートアジングならではの楽しみも。



堤防や港湾、陸で釣る！



はじめての人でもはじめるのがアジング。基本と道具をおさえれば、すぐに始められます



### 2.SHORE

場所:ショア/堤防・港湾  
方法:徒歩

堤防や港などから釣る。陸（おか）で釣るからオカッパリなどともいわれる。アジングはオカッパリで気軽に楽しめる。ルアーフィッシングではショアともいう。気をつけたいのは釣り禁止のところ。場所によっては、餌釣りはよいが投げ釣りは周囲に人がいると危険なので、投げ釣り禁止なんてところもある。マナーを守って釣り場を探そう。

#### CAUTION

### 楽しく釣りをするために、マナーを身につけよう

堤防などは通常、漁業関係の人が仕事をする場所です。釣り場での挨拶や基本的なコミュニケーションを行うことはもちろん、そもそも釣り禁止かどうかの確認や、ゴミを出さない、ゴミを見つけたら持ち帰るなどのマナーを身に付けることで、釣りが楽しめる場所を、皆で共有できることにつながります。ゴミ拾いは海の環境保護にも役立ちます。



34でのサークルではゴミ拾いを行うことも

# いつ釣るのがベスト？

## 1. EARLY MORNING

早朝は魚が捕食モード  
朝まづめを狙おう

時間帯:日の出前～日の出後1時間程度まで

アジングに限らず、釣りによく釣れるといわれるのが早朝と夕方、釣り用語では朝まづめ、夕まづめいわれる時間帯。日の出前後や日の入りの時間帯は魚が捕食モードになっていることが多く、よく釣れやすい。



場所がわかったら、次は時間帯。おすすめは早朝、夕方、夜。日中も状況によっては釣れますよ



## 2. DAY

時間帯:日中

朝まづめや夕まづめはもちろん押さえておきたいが、回遊しているアジはいつ捕食モードのスイッチになっているかはわからない。季節だったり、潮の状況だったり、その日の海の状況だったり、釣れる条件はさまざま。日中ももちろん釣れるといえよう。

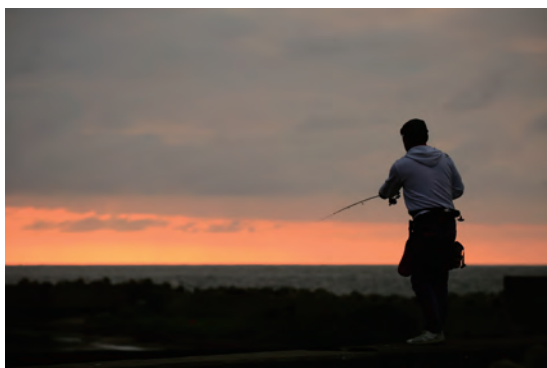


## 3. NIGHT FALL

夕方も活性が高い!  
夕まづめも狙おう

時間帯:夕方～日の入り30分程度まで

夕暮れ、夕まづめの時間帯も1日のなかで釣れる時間帯だ。夜型の魚やプランクトンが活発になるなど、釣れるといわれる理由には諸説ある。アジングの場合は夜もベストタイミングなので、夕方から釣りができると釣れる確率が上がる。



アジングは  
夜釣りがおすすめ

## 4. NIGHT

時間帯:夜間

アジングで楽しめるシーンの一つが夜釣り。アジは光に寄ってくる習性があるので、常夜灯などがある堤防や港湾がおすすめ。夜は危険も伴うので、ヘッドライトやランタンなど手元を照らすことができるギアも必需品だ。



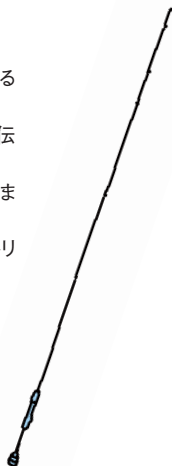
# 道具は何が必要？

## 1. ROD

アタリや水中の様子が手に伝わる  
感度と重心バランスが大切

長さは釣り場に合わせて選ぶ

ロッドは軽ければよい、というものではない。ルアーやリールを付けたときに重心がロッドを握る手の内側にくるのが重心バランスのよいロッド。キャストしやすく潮の流れなど水中の様子が手に伝わってくるのでアジのいる場所を探しやすい。ただ軽いロッドでは先端の方に重心がいきってしまう、水中の情報が得られにくい。取り付けるリールがスピニングリールなのかベイトリールなのかによってグリップの形状が異なる。(P. 20)



どこで釣るか決めてから選ぼう

ここでは一般的に必要な釣り具を紹介します。34の製品はアジングに特化していますよ



## 2. REEL+HANDLE

小型のスピニングリールをロッドと  
の組み合わせで選ぶ

リールは2種類ある

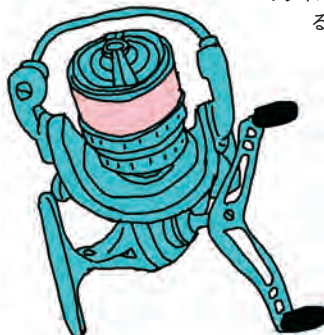
釣りをしているときにロッドの下につけるスピニングリールと上につけるベイトリールがある。

アジングではスピニングリールが基本となる。0.2号のラインを100m程度巻くことが出来る小型のものが適している。

ロッドと組み合わせたときに重心が手元にくるようなロッドとの組み合わせが重要。

ハンドルや、その反対側につけるバランスで左右のバランスを整える。

巻くラインや魚の大きさに合わせて毎回ドラグを調整しよう。(P.42)



## 3. LINE

細く、視認性の高いモノが  
扱いやすい

適したラインをセレクトする

釣り糸のこと。

アジングでは伸びが少なく感度のよいエステルラインの0.2号が基本となる。

太いラインは飛距離が出なくなる、風の影響を受けやすいなどデメリットがある。

色付きのエステルラインは夜でも見えやすい。細くできるため飛距離を出せる。エステルラインは摩擦に弱いので、ルアーとエステルラインの間に30cmほどフロロカーボンラインを結ぶ。

これを「リーダー」といい、0.8号が基本。(P.40)



## 5. JIG HEAD

重さや針の形状など

状況に合わせてチョイス

平均の重さは1g。状況に合わせて変える

ジグヘッドは、ワームを水中で沈めるオモリの役割を担うだけでなく、集魚効果のある形状や見栄えがするものもある。ジグヘッドにはフック(針)が付いており、ワームから出る仕組みになっている。アジングの場合は小さく軽いジグヘッドを使う。フックの形が狙いたい魚の口に合うものを選ぶ。(P.32)



## 4. SINKER & LURE

ラインの先にジグヘッドのほか  
リグやルアーをつけることも

セレクトもルアーフィッシングの楽しみ

エサ釣りの場合は、糸の先にオモリや仕掛け、エサを付ける。アジングをはじめルアーフィッシングはラインの先に、ジグヘッド(ワーム付)や、シンカーと組み合わせたり(エサ釣りという仕掛け)、ルアーフィッシングの場合はハードルアーなどを付ける。ルアーフィッシングの楽しみのひとつは、これらのセレクトにある。状況に合わせてどの色、サイズ、形状がいいかを選び、繰り返すことによって何がベストかを見極められるようになる。(P.36)

## 2. FISH GRIP

釣れたアジをつかむ

手が汚れにくい

魚に合ったフィッシュグリップがおすすめ

魚を掴むには、タオルなどを使うこともあり得るが、ヒレの棘や魚の歯で怪我をすることもある。場合によっては毒があるものもあるので、フィッシュグリップを使うと安全だ。(P.45)



## 1. BAG

現地までのバッグ。ポケットが多く  
釣り場で慌てず探せるものが○

持ち運びしやすく収納力があるものを

釣り場までのバッグ。もちろん自分が使いやすいものであれば何でもいいが、釣りの場合はさまざまなギアや小物を持ち運ぶ。そのため、機能性、耐久性に優れたものがおすすめ。(P. 43)

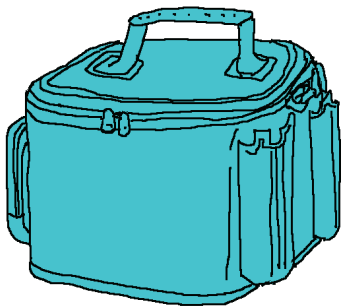
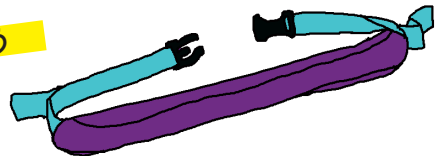


# より安全に、快適に 楽しむには？

スムーズに釣りができれば手返しがよくなります。釣り具のほかに必要なものを紹介します



バッグやケースを活用しよう



## 3. LIFE JACKET

釣りには必ず必要!

命を守るライフジャケット

腰巻タイプ、ベストタイプなどさまざま

釣りではライフジャケットが必ず必要だ。堤防でも足を滑らせれば海へ落下する可能性がある。国土交通省が2019年に基準を改め、桜マークがあるものを使うように法で制定した。購入の際は桜マークの有無をチェック! (P.47)

## 4. BAKKAN

海水がかぶっても安心

洗いやすい道具を入れるバック

ロッドが差せるものが便利

さまざまなメーカーから発売されているバック。使い勝手は自分の道具の量やスタイルに合わせることがよいが、ロッドを差せるタイプは船でも堤防でも便利でおすすめだ。(P.44)

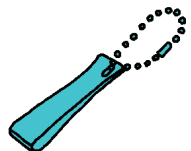
## 5. LINE CUTTER

錆びにくい小さなハサミか

ラインカッターがあると便利

ラインを切るときに使う

現地でラインを切ったりするときがあると便利。ハサミでもよいが、海水や潮風にあたると塩分で錆びるため、錆びにくい素材のものを選ぶ。小型のラインカッターはすぐに使えて便利だ。





# 軽いワームを遠くに投げるには？

ルアーフィッシングでは投げることをキャストする、といいます。キャストは練習で上手にできるようになります



飛距離が出るほど釣れる可能性が高まる



## STEP1

基本は手元からチェック!

正しい持ち方をマスターしよう

中指と薬指の間にリールをはさむ

人差し指にラインを引っ掛け、ベールと呼ばれるアームを起こす。キャストしたときに人差し指を離すため、安定を保つために中指は竿先側へ、薬指と小指は自分の手前側に。

## STEP2

後方を目で確認してから

10時の角度から振り始める

後方に注意し、竿を後ろへ

キャストする際、周囲に人や障害物がないか確認するため、一度振り返ろう。イメージは自分の頭上を時計の12時とし、後方の10時くらいまでロッド(竿)を後ろへ振る。

## STEP3

振り終えるのは

15時の角度で止める

勢いをつけて振り下ろす

素早く3時くらいまで振りかざすと同時に、人差し指にかけたラインを放す。3時より下に下ろすと、手前に落ちてしまい飛距離がでないので注意。

# 魚を見つけるには？

どこに魚が居着いているか見極めよう

反応がない場合は、単に魚がいない場所にキャストしていることも考えられます。海を観察して、魚がいきそうな場所を探てみましょう



## SIGHT CHECK1

白い泡を見つけたら

そこにキャストしてみよう

潮がぶつかっている場所はプランクトンがいる

潮の流れはキャストしてワームの流れから探ることができるが、海の表面にたゆたう白い細かい泡もヒントのひとつ。泡が立つのは海流がぶつかるため。アジが捕食するプランクトンはここにいることが多い。

## SIGHT CHECK2

堤防なら角など

海流が交わる場所を選ぼう

海流が交わる場所は魚が好む

堤防の角は海流が変わるため、小魚がいたりプランクトンがいたり魚が好む。堤防でない場合も、障害物があれば海流が変わっているはずだ。そうした場所で探ってみよう。





# アジの基礎知識

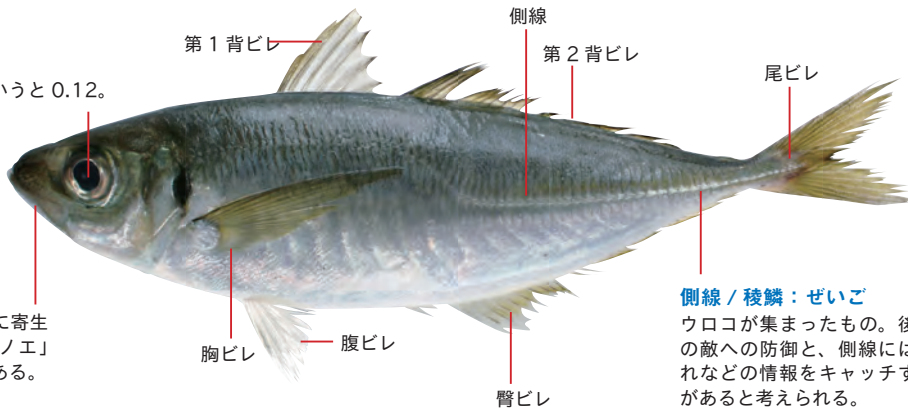
## ま あじ 真鯨 Horse mackerel

分類 スズキ目・アジ科・マアジ属  
捕食 カタクチイワシ、プランクトン、甲殻類  
全長 最大で40cm  
地方名 アツ、メダマ、ヒラアジ、ホンアジなど

### 視力

人間の視力でいうと0.12。

まれに口の中に寄生する虫「ウオノエ」がいることがある。



### 側線/稜鱗: ぜいご

ウロコが集まったもの。後方からの敵への防御と、側線には潮の流れなどの情報をキャッチする役割があると考えられる。

## マアジの基本知識

「アジ」の正式名称は「マアジ」。マアジは未成魚時は東シナ海や太平洋の沖合におり、成魚以上は陸棚上の底層や湾など一定のエリアに定着する。成魚になると回遊型と居つき型にわかれる。産卵期は東シナ海側では1～3月、対馬周辺では4～5月にみられるようにエリアごとに産卵期が異なる。

稚魚	未成魚	成魚
13mm	18cm 未満	26cm

稚魚は東シナ海から黒潮に乗って流れて行く。マアジは3、4歳で成熟し、寿命は約5年程度。

1歳	2歳	3歳	4歳
17	23	27	30

未成魚以降になると日中は海底～中層にアジ特有のピラミ

ッド型の群れを形成するが、夜は拡散する。光に集まる習性がある。群れる習性は稚魚が捕食の行動を学ぶためとも考えられている。

マアジは主に体長10mm程度のカタクチイワシを捕食するが、7～70mmと幅広いサイズの小魚を吸い込み型で捕食する。そのほかプランクトンを捕食する。

マアジは1種とされているが、キアジとクロアジの系統がある。キアジは体色が黄色がかった明るく身が白っぽい。クロアジは体の色が黒っぽく、体高がキアジより低い。キアジは栄養豊富なエリア居着き型でよく太り脂が多い。クロアジは回遊するのでエネルギーを多く消耗し、脂肪がつかなく締まっているため、血合いが多く赤っぽい。

## アジングで釣れるほかの魚

アジングで釣れる魚はアジだけではなく、場所によってはメバルやカサゴ、マサバなども釣れる。例えば底に根が多くてボトム狙いならどうしてもメバルやカサゴが喰ってくるし、中層なら回遊しているサバがやってくる。また、季節や地域によってもほかのさまざまな魚が釣れることもあり、フグも多い。

ちなみに、フグは歯が鋭いため、ラインを切ってしまうこともある。どんな魚であれ、ダメージが少なればリリースしてやり、ターゲットでないからといって、決して堤防に放置しないようにしよう。処理して冷やして持ち帰れば根魚は煮付け、刺身にしたり、サバは首折りして血抜きをし塩焼きにしても。



メバル



カサゴ



ゴマサバ

## 自分の考えを検証できる釣り。それがアジング

僕が出会い、虜になったアジング。この釣りの面白いところは「検証」ができることです。通常の釣りは「次はこうしよう」と戦略や方法を考えても、実際に検証することはなかなかできません。これは釣り人の進歩を妨げる大きな要因になっています。ところがアジングに関しては、考えたことを検証することが十分に可能です。

通常の釣りでは「釣行回数が多い人」「上手な人」ですが、アジングの場合「よく考える人」「上手な人」ということになりません。たとえ1週間に1日しか釣行しない人でも、残りの6日間いろいろ考える釣行日に実践することで、自分の考えの「答え合わせ」ができるわけです。アジングではこの答え合わせが肝なのです。

魚はぶつう大小で食い方が変わります。一般的にはサイズが大きくなればなるほど釣るのが難しくなっていくわけですが、アジはその逆。大きい個体より小さな個体の方が難しく、食性としてはほぼ同様の物を捕食します。

アジは大きな個体よりも小さな個体を釣ることのほうが難しい。通常の釣りとは逆のパターンなのだ



アジングではカサゴやメバルなどさまざまなゲストが登場する。これも釣りの大きな楽しみだといえる



アジはどこの地域にも生息する魚なので「釣れる・釣れない」という答え合わせは簡単にできます。もしも大きな個体を釣りたければ、近くの海で練習を積み重ね、大きな個体がいる地域に出かけやってきたことを実行に移せばよいのです。やりとりは経験が物をいいますが、小さいアジをかけられる人は簡単に大アジを釣ることができません。このようにアジングはわずかな時間でも考えを試すことができる釣り。自分の趣味に時間を費やすことが難しくなっている現代に非常にマッチしているといえます。こんな面白い釣りは類を見ません。

考えること、そして答え合わせ。  
これを繰り返すことで技術が向上し、釣果に大きな差が出る

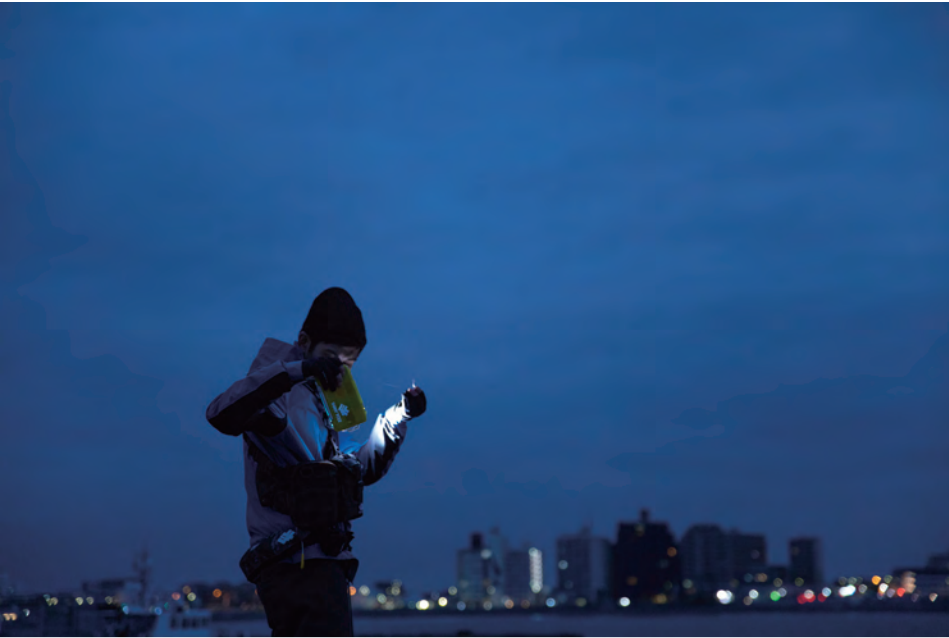
たとえわずかな時間でも自分の考えを試すために実釣を行うことが非常に大切。もし結果が出ないのなら考えを修正し、再度チャレンジすればよいだけ





# 堤防からでも船でも 楽しめるアジング

堤防なら通えば釣れるパターンやローカルポイントを把握できる楽しみもある。一方ボートフィッシングは普段見られない景色の中で楽しんだり、短時間で爆釣することも!



## LOCAL FISHING

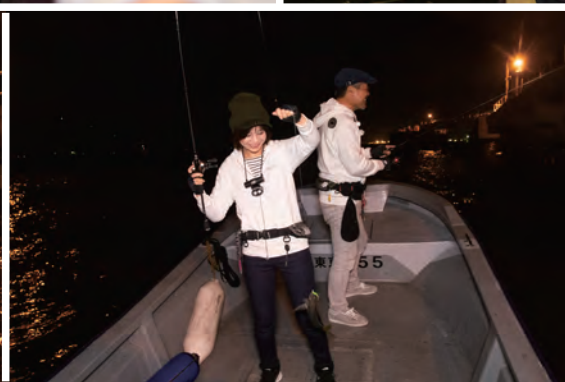
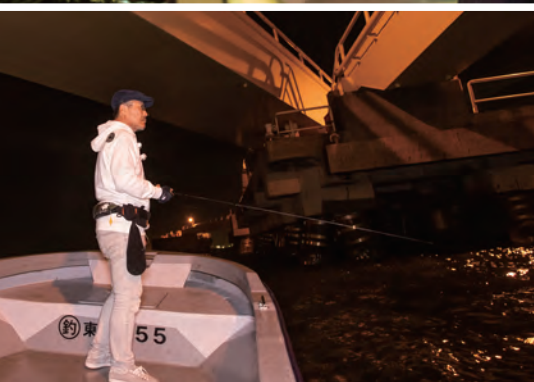
### 堤防、オカッパリ

自分の足でポイントを探せる楽しさを見出すならやっぱり陸で釣る「オカッパリ」。船酔いしやすい人は、堤防釣りがおすすめ。自分のタイミングで帰宅できるのも嬉しい。

## BOAT FISHING

### ボートアジング

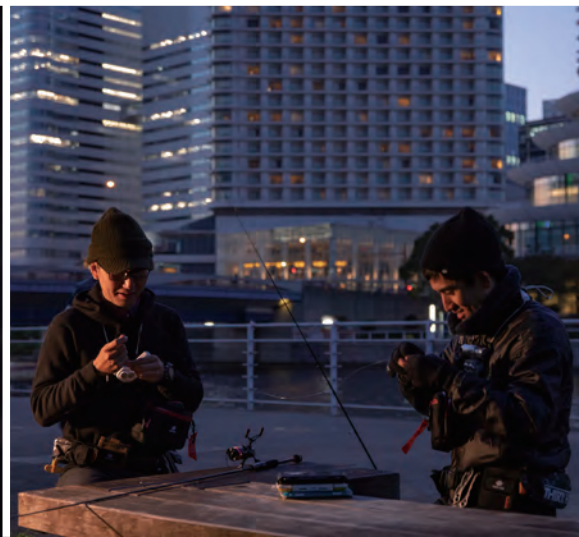
ボートアジングの楽しみは、堤防からは狙えないポイントで釣りができること。また、都心住まいで忙しい人にとって、早朝までの短時間や、夜に集中してアジングを楽しみたい人にも向いている。





# アジングは春夏秋冬、 多忙な人でも楽しめる

アジングは道具さえ揃えてしまえば、  
「安い」「近い」「短い（時間で楽しめる）」釣り。  
多忙な人でも近場の釣り場へ向かえば日常的に楽しめる



## URBAN FISHING

仕事のあと、港湾などでも楽しめる

大海原に行かずとも楽しめるのがアジングのよいところ。街に住んでいて海が遠い人でも港湾まで出せばアジが釣れるエリアもある。港湾などでは海流が回っていたり、居着きのアジがいることも。

## EVERY SEASON

### 春夏秋冬、季節を問わない

どの釣りでもいえることだが夏は日焼け対策、冬は防寒が必須。アジングは年中楽しめる。魚は季節によって脂の乗りも変わる。食べる分だけ持って帰って楽しめるのも嬉しい。



開発者の声をまとめました

# 34のもの作り

物を作る上で常に心がけていること、こだわり

「34の製品作りは、検証することから始める。  
検証することによって、そのものをイメージし実際の釣りに合致させる」これが34のもの  
作りの基本です。実際に海に出て、魚を釣り、海に潜り自分たちの目で確認作業をする。  
その確認作業があるから、陸の上で同じことができる。確認作業。これを必ず行うこと。  
34の製品はすべてそうしてできています。

Ajina Rod

アジングロッド編



『34』のアジング用  
ロッド開発におけるコンセプト

ロッドを作ろうと思った場合最初に考えることは、「今自分がどんなロッドで釣ったら楽しいと思うか？」です。あくまでその基準は自分です。おそらく僕ほど全国でアジングを楽しんでいる人間はいないと思います。そんな僕が楽しいと思うモノはみんなが楽しいと思うだろうとの勝手な思い込み。そこからすべてが始まります。

それからまず、そのロッドで釣っているシーンを想像（妄想）し、曲がりを考えます。「こんな曲がりなら楽しそうだな」という具合にそこからドンドン妄想が広がっていく、ロッド全体のアクションが決まっていきます。

そこからプロトロッドの製作に入りテストをしていきます。テスト時のこだわりとしてカウンターサンプルで最低1000匹のアジを釣ることにこだわっています。それくらい釣るとカーボン本来の調子が出てロッド本来のポテンシャルがよくわかるのでその点にはこだわっています。

「こんなロッドで釣ったら楽しいだろうな」という妄想からスタートし、最終的に思い通りの形になった瞬間というものは本当に何度味わっても最高の瞬間です。



モバイルロッドとは思えないほどの  
高感度かつ持ち運び自由な新感覚を装備

## Advancement BCR-56

アドバンスメント BCR-56



販売価格：39,500円(税抜)  
詳しくは別冊カタログP.9 もしくはwebサイトへ

これまでのモバイルロッドの概念を  
超越した4ピースアジングロッド

アジングでは移動も多く、荷物はできるだけコンパクトにしたいもの。その中でもロッドは持ち運びに気を使いますし、大変です。そこで携帯性に優れた本格的なアジングロッドの小継ぎバージョンはどうかと考えました。しかしながら小継ぎはどうしても継数が多い関係で印籠継や逆並継では接続部分が多くなるので製品化は厳しいと思っていました。そこで並継ですが、こちらは抜けやすいというデメリットがあります。アジがプランクトンを主食と考えているとオールマイティに使うことを考えたら、ロッドのアクションはスローアクションが一番よいのですが、そうなるのとロッドのしなり幅が大きくなり、並継だと抜けやすくなってしまふ。しかしトップが極端に柔らかい『PSR-60 THE NEXT STAGE』を並継で作ることができ、抜け緩みもまったくなかった。それでそれと同じ設計ならば問題ないと考えて設計者をお願いしたわけです。

ファーストサンブルからかなりよい物ができ上がってきたのですが、少しアクションがファースト気味だったので幾度か作り直し、どこでも通用するようなスローテーパーに修正。さらに幾度かテストを繰り返していくうちに、非常に使いやすいいロッドになり、しかも不安定だった継ぎも、抜けることもゆるむことも一度もなく、継ぎの深さ・テーパーは問題ない仕上がりになりました。

次にロッドの感度ですが、4本継ぎでも申し分なく、むしろ感度が高いぐらい。何の違和感や不自由なくアジングを楽しめるロッドが完成したのです。

細いティップが海中のあらゆるわずかな変化までも手元に伝えてくれる

## Advancement PSR-60 THE NEXT STAGE

アドバンスメント PSR-60 ネクストステージ



販売価格：39,800円(税抜)  
詳しくは別冊カタログP.10 もしくはwebサイトへ

家邊克己が長年追い求めていた  
理想を形にした究極のロッド

張りのあるロッドが全盛だった2012年に発売したPSR-60は、アジングに革命をもたらしました。その理由は、40センチ超のロングソリッドによる「動かさないアジング」の確立と、変則2ピースによる抜群のバランスによるもの。当時からアジの食性は小魚を主食としたものから、アミ・プランクトンをメインとしたものに変化してきており、以前の重いジグヘッドを使用したキビキビしたアクションには反応しづらく、軽量ジグヘッドを動かさずアミ・プランクトンの塊の中に漂わせることが重要になっていきました。それまでプランクトンパターンに対応すべくさまざまなロッドを開発してきたので、今なら理想のロッドが作れるのではないかと、この思いから開発に着手したのがこのロッドです。

511、58とバランスを細身にすることで大きな道筋が見え、最終的にティップを細くすることが可能な並継ぎという答えに辿り着きました。これによりティップは細く、しなりのあるプランクスとなりました。セクションはティップのしなりをしっかり受け止める上で、通常の2ピースの方が安定しバランスもよいことから、初代のように変則2ピースにする必要もなくなりました。並継ぎによる振り抜け感も、これまでの逆並継ぎロッドと比べれば歴然と、驚愕に値する軽快な振り抜けをもたらします。当然飛距離は伸び、軽い力で軽量ジグヘッドを遠投することが可能です。またこれまでにない細いティップは、海中のあらゆるわずかな変化までも手元に伝えてくれます。

誕生はFPR-55とDFR-511をハイブリッドさせたら…という探求心だった

# Providence FER-58

プロヴィデンス FER-58



販売価格：53,000円(税抜)

詳しくは別冊カタログP.9もしくはwebサイトへ



軽量ジグヘッドはもちろん、重量ジグヘッドも難なく扱えるロッド

FPR・55とDFR・511という2本のロッドをハイブリッドさせたらどうなるのか、という興味と探求心から開発がスタートしました。2本の違いはジグヘッドを使った時の「感じる位置」。すなわちファーストテーパーの55はベリーに張りがあり、その部分で支えるようになるため前方で感じ、スローアクションの511はグリップ上まで均一に曲がるのでグリップ上のバット部分で感じるであろうと考えられました。そこで各セクションで役割を分担させたら面白いのでは、という結論に至りました。

つまりタイプはF・tunedを使用しベリーの部分はスローテーパーにしてバットのパワーを511よりも増せばよいのではと。早速開発がスタートしましたが、軽量ジグヘッドが扱いやすく、しかもできるだけ全体を細身にして振り抜けをよくしたくても今のままでと太身にするかしかなかった。そこで考えたのがバット部分のみカーボンを40tから50tに上げること。試作と実釣を繰り返し511よりも細くて強いバットができ上がりました。

しかしながら問題はトップのベリー部分で、この部分の硬さの調整に手間が掛かりました。理想はロッドが立った状態でジグヘッドの重さの変化がわかるロッドです。そこでテストを繰り返し、このアクションなら、というのが最終的に決まるまで開発から一年以上が経過しました。最終的に軽量ジグヘッドはもちろん、強風下での1.8gの重量ジグヘッドも難なく扱うことができるオールマイティなロッドが誕生しました。



販売価格：37,000円(税抜)

詳しくは別冊カタログP.10もしくはwebサイトへ



1g以下の軽量ジグヘッドを自在に操り、  
潮目にうまく乗せることができる

# Advancement DFR-511

アドバンスメント DFR-511

アミパターン攻略のために  
生まれた高感度

最近のアジは食性が変わり年中アミなどのプランクトンを食べるようになりました。そこで生まれたのがアミパターンです。プランクトンの塊はいわゆる「潮目」や「れ」と呼ばれるところに集められます。夜間の釣りが多いアジングでは潮目を視認することは難しいのですが、潮の抵抗によるジグヘッドの重さの変化で位置を知ることができません。その際軽量ジグヘッドを使えば潮目にあるプランクトンの塊にできるだけ長くキープすることができ、アジが積極的に食いついてきます。ただ1g以下の軽量ジグヘッドは扱いが難しく、なんとかアミパターン攻略する方法はないか、と生まれたのがこのロッドです。

DFR・511はスローアクションのロッドです。全体が曲がるので軽量ジグヘッドの飛距離は34のロッドラインナップの中でもダントツのNo.1(当時)。またスローアクションのロッドはペンディングの頂点が後ろになるので重心がより手元に近づき、ジグヘッドがグリップのすぐ前で手に取るように感じられます。しかも全体がよく曲がるので小さなアジもバレにくく、アジの引きを最大限楽しみながやり取りができます。アジの場合アタリがあつてからフッキングまでの素早いレスポンスが要求されるのですが、そうなるという一番の課題はアワセ遅れをいかに防ぐかということになります。その点かなり苦労して試行錯誤を繰り返しましたが、レンジスを調整することでやっと解決に至りました。理想のレンジス(全長)をもつロッド、それが、DFR・511なのです。





販売価格：35,500円(税抜)

詳しくは別冊カタログP.11 もしくはwebサイトへ



「開拓を楽しむロッド」という意味合いを  
持って生まれた FPR-57 の真の継承者

## Advancement FPR-55 F-tuned

アドバンスメント FPR-55 エフチューン

唯一無二の世界を体験させてくれる  
「釣っていて楽しい」ロッド

開発のきっかけは昔作ったロッド。それはベリー(穂持ち)からバットにかけてほとんど曲がらず、非常にピーキーなファーストテーパーのロッドでした。魚を掛けた時はダイレクトに腕へ負担がかかり、沢山釣れた翌日は腕が上がらないほど。そこまでピーキーなロッドは今の時代には合わないと思うのですが、あの感じで腕に響けば満足感を得られると思ひ、ベリーからバットにかけてはほとんど曲がらず、「テイツプ」だけがよく曲がるロッド」を考えました。テイツプを柔らかくするといっても従来のメバルロッドのように、グラスソリッドや24tカーボンソリッドでは感度が落ちるので、あくまで30tカーボンソリッドにこだわりました。

しかし30tカーボンは手ごわい上グニャグニャにするのは非常に難しく、テーパーを何回も削って作り直し、テストを繰り返してやっと完成。それがF・tuned『フォロートチューンソリッド』タイプです。鋭敏で非常に柔軟なタイプがもたらす恩恵は計り知れず、使い手の意識のもと、自由自在に海の情報を取り出せます。

今まで無かったテーパー(角度)で、30tカーボンソリッドとは思えない曲がりを演出してくれます。ベリーからバットには十分なパワーをもたせているので、デーパーゾーン(深場)から魚を浮かせることも容易。そして通常ではわかりにくい軽量ジグヘッドをアジが食い上げることにより出る「デーション抜けのあたり」なども、ロッド全体のバランスのよさから簡単にわかるようになっていきます。

10g以上の遠投性と1gの操作性という一見矛盾したテーマを見事クリア

## Advancement HSR-80

アドバンスメント HSR-80



販売価格：44,500円(税抜)

詳しくは別冊カタログP.10 もしくはwebサイトへ

大型メバルを根から引き離す  
パワーも有したマルチハードロッド

最近のアジングはフランクトンがメインベイトになって、段々ロッドが短くなってきています。しかしそんな中でも極端なロングロッドの遠投によるポイント開拓も並行しており、34でも新たなロッドの開発に乗り出そうとHSR・80を開発いたしました。

課題は1gのジグヘッドも操作でき、なおかつ10g以上のヘビリーリグの操作性も上げるという相反性。それでいて取り回ししやすい重さにするという二つのコンセプトです。それはメバルの大型狙いにおいて根から引き剥がすバットパワー、そしてブレイクの先、遠浅のサーフなどでのフロートを使ったアジングやメバリングなどにも使用したいというロングロッドへの要望が強かったからです。

軽量リグからヘビリーリグまで操るためには、アクションをスローテーパーにしないと上手くいかないのはわかっていたので、問題はどこまでバットパワーを上げるか。そこで試行錯誤が始まりました。バットパワーを上げすぎると当然軽いジグヘッドを投げることとは難しくなりますが、逆に柔らかくしすぎると重い物をリフトできなくなる。この矛盾点をマンドレルからカーボンのトン数、プライ数、そしてマテリアルまでいろいろ調整してやっと完成までたどり着きました。アジングはもちろん、根についた大型メバルを引き離すパワーまでも有したスーパーマルチハードロッド。10g以上のキャロ、フロートの遠投性と1gのジグヘッドの操作性という、一見矛盾したテーマをクリアしたのがHSR・80なのです。

キビキビした動きからスローまで、釣り人の使い方自由自在に操れる

# Advancement HSR-63 Version2

アドバンスメント HSR-63 バージョン2



販売価格：45,000円(税抜)

詳しくは別冊カタログP.10 もしくはwebサイトへ

バランスを工夫し感度を  
飛躍的に高めたツーピースロッド

以前のHSR・63は34唯一の1ピースでファーストアクションのロッドでした。このロッドを今までのノウハウを活かし、よりコンパクトな2ピースにし、かつ性能をアップさせるにはどうしたらよいか。一般的に1ピースの方が2ピースよりも感度がよいと思われがちですが、実はそうではありません。この思い込みを覆すにはPSRから学んだバランスの勉強が活きました。つまりバランスをしっかりと取ることでより感度は飛躍的にアップするのです。

具体的には重心を後ろにもってこるためにジョイント部分をずらし、振り抜けをよくするために逆並み継ぎにしました。さらに全体をより細身にするので1ピースと変わらない振り抜けのよさと感度を実現できました。次にアクションですが、細身になるとロッドは柔らかくなり、目指すアクションを出すには設計からの見直しが必要になりました。その分かなり時間がかかりましたが納得のいく一本ができたと思います。

スローテーパーのPSR・60や66、FPR・57は、ジグヘッドが動かないようにしてスローアクションに適するように作られています。逆に活性の高いときにリアクションを狙うようなキビキビとした動きをさせるのに適しているのが今回のHSRシリーズです。それはファーストテーパーゆえ、手元で少し動かしただけでレスポンスよく、ジグヘッドが動くので操作性は抜群です。一方、手加減することでスローに動かすことも可能なので、釣り人の使い方一つで自由自在に操ることができます。

610という長さを感じさせない感度、  
そして強力なバットパワーを備えている

# Advancement HSR-610 Version2

アドバンスメント HSR-610 バージョン2



販売価格：48,000円(税抜)

詳しくはカタログP.11 もしくはwebサイトへ

ギガアジの攻略も視野に入れるために  
に仕上げられた繊細なロッド

ギガアジに対抗するにはこれ以外は考えられないと思える究極のロッドです。ソリッドタイプで長さは6・10ft(2008センチ)。リグウェイトは0・5・3g(0・3/1・6oz)となっています。さらに今回のHSR・610 Version 2は軽量ジグヘッドでのギガアジの攻略も視野に入れて、より繊細なロッドに仕上げられています。具体的には全体をより細身にして振り抜けをよくし、さらに重心を後ろに持つことで繊細なジグヘッドの存在感がわかるように設計。さらに潮流の変化であるヨレもいままで以上に把握できるようになっており、潮のヨレに潜む20センチ前後のアジから40センチオーバーのアジまで幅広く対応できる優れたロッドになっています。いわばもっともマルチな活躍をするロッドだといえるでしょう。

一方、感度はバランスが取れ、610という長さを感じさせないぐらいう秀。豆アジのショートバイトも手に取るようにわかる、申し分なく感度がよいロッドです。またギガアジに対抗するためには強力なバットパワーが必要ですが、このロッドなら余裕で40センチを操ることができ、アジに先手を取らせることなくやり取りが可能。釣り人にとっては非常に頼りになる相棒です。

なお高弾性カーボン是非常に軽く感度がよいのですが、その反面、硬く薄いため割れやすいという短所があります。普通の高弾性カーボン使用のロッドに比べ、ゆるんだ状態からの急激な負荷、限界点までの曲げなどは行わないように注意が必要です。

5.7ft の短さで取り回しがしやすく、テクニカルなアジング向け

# Advancement FPR-57

アドバンスメント FPR-57



販売価格：36,000円(税抜)  
詳しくは別冊カタログP.11 もしくはwebサイトへ

アジをかけた時の楽しさが  
より味わえる1本

「より繊細なアジングをテクニカルに楽しみたい。」「豆アジの引きも満喫したい。」こんな思いから開発がスタートしたのがこのFPR-57です。

この2つの思いを実現しようとテストを繰り返した結果、ロッドのレンジス(長さ)は6ft以下となりました。

そしてこのレンジス(長さ)にもかわらず2ピースとしました。これは、PSRシリーズで得た経験を活かし、変則2ピースにすることでのロッドバランスを優先したかったからです。

また、トラウトロッド並みの細いブランク(竿の芯の部分)を採用することで、想像もつかない新しい感覚を実現できました。

PSRシリーズで培った違和感的なアタリに加え、より微妙な潮の変化やテンション抜けなどの情報力が格段に向上し、今まで掛けられなかったアジにフッキングが可能になりました。

細いブランクになるとキャスト時にだるくなりがちですが、逆並継による振り抜け感・バット部分に4軸シート・変則2ピースによるバランス効果で、掛けた後の楽しさは格別です。



PSR 独特の違和感的なアタリを感じられる性能はそのまま継承した

# Advancement PSR-66

アドバンスメント PSR-66



販売価格：40,000円(税抜)  
詳しくは別冊カタログP.12 もしくはwebサイトへ

水深のあるエリアで  
重めのジグが使えるロッド

『PSR-60の感覚で水深のあるエリアや1.3g以上のジグヘッドを使いたい!!』という多くの皆様からリクエストを頂いて開発がスタートしたのがこのPSR-66。長いレンジスでも先重り感がないよう、幾度と無くテストを繰り返し、今まで以上のタックルバランスのよさを実現することに成功しました。

0.5gのジグヘッド単体の操作性はそのままに、課題であった水深のあるエリアで1.3g以上のジグヘッドの操作性も抜群です。

タックルバランスのよさからくる、PSRシリーズ独特の違和感的なアタリやテンション抜けなど、さまざまな情報を手に取るように感じることができ、6・6ftで軽々ワンハンドキャストも可能な軽快さを兼ね備えているロッドが完成しました。

PSR-60と同様、破損防止のためにティップ部分にティッププロテクターを標準装備することで、移動の際もしっかりとティップを保護します。

汎用性が高く、初心者からベテランまでその技量に応じて楽しめるロッド

# Advancement HSR-73

アドバンスメント HSR-73



販売価格：41,000円(税抜)  
詳しくはカタログP.11 もしくはwebサイトへ



## S キャリーが投げやすく アクションがつけやすいロッド

S キャリーを作る上で610でも十分使  
用できるのですが、飛距離を考えると7ft  
台のロッドがどうしても欲しくなりました。  
そこでこのロッドを作り始めたのですが、  
どのようなロッドにしようかと考えたとき  
にS キャリーは従来のキャリーのようにリフト  
するときに加重がかからず、それほどのパ  
ワーは必要ありません。長さに関してロング  
ロッドの場合スローアクションにし過ぎると  
ショートロッドと違いアワセ遅れが顕著にな  
ります。メバルならまだいいのですがアジン  
グロッドですとその辺りが問題になります。  
しかし、重たいリグを操作したい方もい  
らっしゃるでしょうし、すべて使えるロッド  
というはちょっと無理なのでこのHSR-73  
は、ジグヘッド単体から7gくらいまでのリ  
グを繊細に上手く扱うことができるロッド  
にしようと考えました。

まずアクションを決めないといけないの  
でファーストから順番にベディングの頂点  
の位置を変えたサンプルロッドを数本作り、  
そのテストから始め、その中で色々テス  
トをしていくうちにミディアムファースト位  
がこのロッドのコンセプトに近いアクション  
と確認できました。ロッドのバランスをと  
るために工夫し重心をできるだけ後ろにもつ  
て来るようにしました。このロッドはPE  
をご使用になられる方もいらっしゃると思  
うので、通常34のアジングロッドの場合ト  
ップガイドは、3.5ミリを使用するのですが、こ  
のロッドは4.0ミリを使用し2番から下  
も3.5ミリを使用することでPEでも問  
題なく使えるようにしてあります。



目に見えない潮目、プランクトンの溜まり場を狙う

# Advancement PSR-60

アドバンスメント PSR-60

販売価格：36,000円(税抜)  
詳しくは別冊カタログP.12 もしくはwebサイトへ



## 見えない潮目をも楽しみたい人に ビギナーから使えるロッド

2012年の開発当初、わずかな潮の  
変化や目に見えない潮目を感じることが  
できるロッドを作るというコンセプトで作  
られました。というのも、磯釣りをよくされ  
る方には知られているのですが、浮力をギ  
リギリまで殺した浮きを使用すると突然浮  
きが見えなくなり、目を見ながら見ても  
他とどう違うかまったくわからない  
のにそこに行く沈んでいくポイントとい  
うのがあります。これが「潮目」です。そこ  
で沈んでいくのに任せていると突然魚が食  
つてきます。慣れた方だとその潮目を見つ  
けて楽しめませんが、これを幅広い層に  
楽しめたいのがこのロッドです。

結果としてわかりにくい潮の変化を、  
誰にでもよくわかるように独特のバ  
ランスを見つけて、自身の腕の延長線  
上にティップ(穂先)が来るように設  
計しています。

2ピース(2本継)であるものの、長  
さが異なる変則2ピースにすることで、  
ロッドのバランスを取り、「逆並継」  
を採用することで振り抜けも抜群に  
よくなりました。

そして今まで34のアジングロッド  
ではカーボンソリッドタイプを30  
センチにしていたものをPSR-60  
ではSBR-68と同様の40センチの  
長さにし、ソリッド部分を長く取  
ることで柔らかく動かすことができ、  
10センチ単位での微妙な柔らかい誘  
いが簡単になりました。

破損防止のためにティップ部分に  
ティッププロテクターを標準装  
備することで、移動の際もしつかり  
とティップを保護してくれま  
す。



感度は落とさず可愛らしく仕上げる。試行錯誤の末この難問を見事クリア

# GUIDEPOST LHR-57L GUIDEPOST LHR-57

ガイドポスト LHR-57  
ガイドポスト LHR-57L

販売価格：23,000円(税抜)

詳しくは別冊カタログP.12 もしくはwebサイトへ



初心者・ベテランどちらでも満足できる2機種のペアロッド

最近、釣り場でも女性アングラーが目立つようになってきましたが、彼女達のタックルはほとんどが旦那さんか彼氏さんのお下がり、自分のタックルを持っていない方が多いのに気付きました。そこで女性専用のロッドができないかと考え構想を練り始めました。

難しいのはブランクスカラーで34のロッドはすべて無塗装のアンサンド仕様になっています。それはカラーを着けた場合、塗料の皮膜により感度が落ちてしまうからなのですが、レディース仕様ということになればやはり可愛らしく仕上げたい。そこで試行錯誤を繰り返して、最終的に感度を落とさずカラーを着けることに成功しました。

あとは長さとかクッションです。やはり女性が扱いやすい長さとなると5ft台。その方が取り回しも楽だし、短いレングスの方が手で動かしてもティップが動かない。初心者の女性にとってもアジを釣りやすくなるので最終的に5・7ftに設定しました。

アクションはスローなベリーとハードなバットの組み合わせを色々試行錯誤した結果、女性にも扱いやすく男性が使われても十分に面白いアクションにでき上がりました。ロッドテスト中には男性スタッフが『このロッドなら僕が使いたい!』と言い出してきました。ならばいいそのこと男性用モデルも作ってペアロッドにしたらどうかという話になり、急遽男性用のデザインも作られたというわけです。今までになかったペアの『ガイドポストLHR・57』、ぜひカップルで使ってみてください。

沖で悠々とプランクトンを食べているアジにしっかりとアプローチできる

# GUIDEPOST LHR-69

ガイドポスト LHR-69

Sキャリーからジグヘッド単体まで使用可能なコスバ抜群のロッド

Sキャリーをリリースしたのは2013年。その当時からアミなどのプランクトンがアジのメインベイトになってきており、軽量ジグヘッドの必要性を痛感していました。しかし軽量ジグヘッドは、飛ばない、存在感が希薄などという問題があり、それをクリアするためにSキャリーを開発したのです。その後次第にアジが釣れなくなりSキャリーが大きく注目されるようになりましたが、そうなるにしても専用のロッドが必要になる。以前のラインナップではHSRとPSRシリーズのロッドが対応していましたが、もう少し最新のプランクトンパターンに対応したロッドがあった方がSキャリーも使いやすい。さらに入門者にとってもSキャリーを使用する方がよりアジを釣りやすくなるのではと考え、ガイドポストでの製作にとりかかりました。

Sキャリーは、4gまでの重さがあるもので、より遠くに投げるにはレングスが長いほど有利なのですが、7ft台だとジグヘッド単体では非常に取り回しがしにくく具合が悪い。そこでテストを行った結果6・9ftが一番しっくりくるのがわかりました。

アクションは軽量ジグヘッドでも投げられるように全体が曲がるように仕上げた結果、Sキャリー使用時にかなりの飛距離が出るようになりました。問題は軽量ジグヘッドをどのように扱えるか。そこで細かなアクション調整に入りLHR・62とはまったく違うスローアクションで、Sキャリーも軽量ジグヘッドも上手く使えるロッドアクションが完成したのです。



販売価格：23,000円(税抜)

詳しくは別冊カタログP.12 もしくはwebサイトへ

ハイクオリティーでありつつ価格を抑えることを実現

# GUIDEPOST LHR-62

ガイドポスト LHR-62



販売価格：18,500円(税抜)  
詳しくは別冊カタログP.13 もしくはwebサイトへ

すべての無駄を省き必要不可欠なバランス、感度を兼ね備えたロッド

34の入門用ロッドが欲しい。そのような声が全国から届き、製作に取り掛かりました。一番の問題は価格でした。

34が作るのであれば、最低でも初心者の方がありとあらゆるシチュエーションでアジングを成立させることができるクオリティーでなければなりません。しかし入門用なので価格も抑えたい。この矛盾をどのようにに解決するかが一番の難問としてのしかかってきました。

そこでまず、デザイン段階で無駄をとことん省き、装飾も最低限にしてまさにシンプルなロッドにすることを目指しました。

一方素材はレベルを使用。さらにはこの高弾性カーボンを使用。さらにはどのようなリールを使用するのかわからないので、バランスを取りやすくするためにストレートグリップに。ロッドアクションは何ヶ月もかけ日本全国でテストを繰り返しました。どの地域にも対応できる調子を探りました。その結果、価格からは想像できないようなハイパフォーマンスでいかなるシチュエーションにも対応できるロッドが完成したのです。

初心者用として設計されたロッドですが、いざ作り上げてみると、ベテランの方のサブロッドとしても遜色のない仕上がりになっています。

すべての無駄を省きアジングにおける必要不可欠なロッドのバランス、感度を追求しシェイプアップされたロッド。まさに初心者の方をアジングの世界に導く Guide Post (案内人)です。



## ベイトリール用

ジグ単・プラグ対応などさまざまなシーンで活躍する最新ベイトロッド

# Advancement NER-64b

アドバンスメント NER-64b



販売価格：41,500(税抜)  
詳しくは別冊カタログP.9 もしくはwebサイトへ

「アジング用のシヨアベイトロッド」が欲しいとの声に応えた自信作  
繊細なF・tuned ティップ採用した最新ベイトロッドです。アジング用のシヨアベイトロッドを作って欲しいとのリクエストを受け、長らくテストを繰り返してき上がりました。

特に気を遣ったのが「高感度」と「ベイトロッドでのアジングの快適性」。さらに飛距離を出すため、ロッドのバンドカーブにもこだわりました。力の伝達はロッドを振りかぶったときに徐々に先端からバット方向へ移動し、4軸クロスカーブの上部まで曲がっていきます。4軸クロスカーブをバットガイド位置に設定することで先端からロッドをしっかりしなせられることができるので、軽い物もキャストできます。先端のソリッドにはF・tuned ティップを採用。F・tuned ティップの特徴はソリッドとは思えない曲がりです。テーパの加工でソリッドを最大限曲げることができ、わずかな潮の変化や魚のアタリを的確に手元まで伝えてくれます。F・tuned を搭載することで高感度に特化したベイトロッドが完成したのです。

F・tuned ティップは柔軟性に優れているタイプなので、キャスト時に先端からロッドを曲げる力を増幅させ、少しの力で曲げることのできる優れたソリッドです。バッド部の4軸クロスカーブがキャスト後のロッド本体のブレを最大限抑え、収束させるので、ルアーを安定して飛ばすことが可能になりました。この性能はベイトロッドで軽量ルアーを飛ばすためには必要で、アクションパフォーマンスを大きく向上させます。

## POINT 道具の構造を理解し、部位の名前を覚えると製品を選びやすくなる

釣り道具を選ぶときにヒントになるのがスペックや製作背景。けれど釣り道具の基本を知らないと、なかなか理解が追いつきません。まずは釣り竿についての基本名称や構造を覚えてみましょう。アジングはルアーフィッシングのためルアーフィッシングの用語を使うことが多いです。ルアーフィッシングは輸入された遊びのため、道具の名称はほとんどが横文字です。

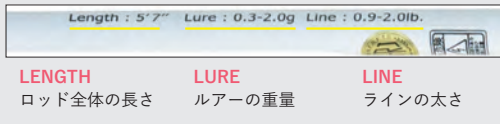
### ガイド

リールに巻いたライン（糸）がロッドに平行して流れ出るようにするためのものがガイド。ガイドにもいくつか形状や素材があり、感度のよしあしを決める重要なパーツのひとつ。



### ルアーフィッシング用のスペックの表示

ロッドには、使用できるルアーの使用範囲や、竿の長さなどが印字されている。



### 竿の構造

ティップ（竿先）の構造は中が空洞で円筒状になっている「チューブラー」と中身が詰まった「ソリッド」の2種類。アジングロッドには感度がよく、抜けアタリもわかりやすいソリッドのほうが適している。

断面図



*Boat Jigging Rod*

ボートアジング編

繊細なティップが水中のわずかな変化を穂先に伝える!

ベイトリール用

**Remarkable CER-64b**

リマーカブル CER-64b



販売価格：41,500(税抜)  
詳しくは別冊カタログP.13 もしくはwebサイトへ

### ベイトで繊細な F・tuned ティップを採用

あらゆる地域でイカメタルなどと一緒のアジングを楽しまれている地域の方々から「アジング用のオフショアベイトロッド」を作って欲しいとのリクエストを受け、長らくテストを繰り返して、さまざまな点でベイトロッドを使ったアジングの利便性を感じることができました。ワンタッチでラインを出したり止めたりすることができ、ベイトならではのメソッドも色々考えられ、釣果も上がりました。ロッドの性能面に関してですが、イカメタルと兼用となるとやはり2ozは最低でも乗せられる必要があります。しかもアジの微妙なアタリもティップに出るようにしないといけない。よって設計ではベリーの硬さ、強さが焦点になりました。

元々ボートアジングロッドはその釣りが独特なために、アクションは極端なファーストテーパーですが（イカメタルを準備範囲に見据えた）2oz程度まで背負せられるとなれば、あまりベリー（竿の中間部分）まで強くよってしまおうとティップが持たなくなりやすくなってしまいます。アクションを考慮しながら程曲がらないため、アクションを考慮しないといけないというのはかなり苦労しました。結局約2年がかりでやっとでき上がりしましたが、その甲斐あってほぼ理想的なものとなり、2ozを乗せて50mラインを釣っても余裕で支え、通常使用する1oz以下の錘を付けた場合はティップで支えるという「錘による可変式テーパー」をベリーまで採用したことにより、アタリも綺麗に出るロッドができました。一度使えば、ボートアジングにおけるメインロッドになるでしょう。



F-tuned ティップ採用で誕生した、  
今までにない新感覚ポートアジングロッド

## Remarkable CER-62

リマーカブル CER-62

販売価格：41,500円(税抜)

詳しくは別冊カタログP.13 もしくはwebサイトへ



水深50〜60mの深場でも  
微妙なアタリを捉えることができる

アジは非常に面白い魚で、ボトム(底)にいたかと思えば10mも浮くなど、魚探を見ても常に移動しています。水深もマチマチで浅い場所は10m、深い場所だと80mぐらいいまで釣り場が存在します。

アタリは水深20m位まではロッドにも伝わりませんが、それ以上深くなると伝わりにくくなります。水深のある水中は潮が複雑なのでアタリの伝達が悪くなるのです。こうした状況に対応するロッドはないかと開発がスタートしました。実釣ではロッドをしゃくったらアジが掛かっていることも多く、FPR・55のF・tuned ティップを使用してみると、これが見事にハマリ、1〜2センチ位引き込む動きからティップを強く動きまで千差万別の動きでアジのアタリを知ることができるようになりました。しかもベリーを強くしたファーストテーパーのロッドなら、結構な重量を背負ってもトウィッチを入れることができるわけです。そして完成したのがリマーカブルCER・62です。通常のアジングロッドではティップにアタリは出にくいのですが、このロッドを使用すればわずかなアタリでもティップに出るため、水深50〜60mといった場所でも余裕で使用できます。もちろんパーチカルでの釣りですのでキャストは必要ありません。誰でも目で見てアワセることが可能なので、初心者や女性でも釣ることができなです。しかもシヨア(岸)からはなかなか釣ることができないギガアジを釣ることができるのでぜひ挑戦してみてください。

コスト面を度外視して誰でも簡単に  
ポートアジングが楽しめるロッドに仕上げた

## GUIDEPOST EMR-64

ガイドポスト EMR-64

販売価格：24,000円(税抜)

詳しくは別冊カタログP.13 もしくはwebサイトへ



ガイドポストに初めてF-tuned

ティップを採用したエントリーモデル  
ガイドポストに登場したポートアジングモデルです。AR(Air Range)モデルを使い始めてだいぶ経ちましたが、その間ポートアジングにチャレンジしたいという釣り船屋さんやアングラーがかなり増え、そうなる『CER・62』のほかエントリーモデルが欲しいという要望から、開発に至りました。

ARモデルは難しい釣りではないのですが、やはりアタリを表現するのがティップだけなのでF・tuned 搭載は必須。他のロッドでは表現されない細かいアタリを捉えられます。しかしF・tuned ティップはコストが高くエントリーモデルに採用するには難しかったのですが、ポートアジングをもっとたくさんの方々に手軽に楽しんでもらいたくさんという思いからコストを度外視して製作しました。

ポートアジングを始める上で一番楽しいのが水深60m以下のポイント。その深さでどう楽しんでもらうかをメインに考えロッドを開発しました。それによりリマーカブルよりも若干ベリーの部分を柔らかくしており、初心者でもアタリがわかりやすいようにベリーチューニングを行っています。

シンカーも1oz(28g)やナス型、錘8号くらいまではゆとりある使用感で、その水深でのポートアジングにまったく問題なく使えます。また、アタリが渋いときも綺麗にティップにアタリが出てくれるので初めてポートアジングをされる方でも扱いやすいロッドになっています。



ソリッドタイプでメバルのアタリを弾かず釣果につながる

# Advancement SBR-64

アドバンスメント SBR-64

*mebaring rod*

メバリングロッド編



販売価格：46,500円(税抜)  
詳しくは別冊カタログP.14 もしくはwebサイトへ

あらゆる環境や状況に対応するよう各セクションに工夫を施したロッド

SBR・64はロッドの継ぎの部分で、バランスが取りやすい変則2ピースで、逆並継ぎを採用。これによりロッドバランスは抜群によくなり、わずかな潮流の変化を感じられる感覚をもたせられました。また、SBRシリーズでは初となる4軸シートをバット部分に採用。ロッド全体を細身に仕上げることで弱くなりやすいバット部分のパワーをアップすることが目的で、不意の重物にも即対応できます。ロッド全体はスリムな設計にし、スローな釣りにも向いています。

アジングロッドとの大きな違いは、スローペーパーに仕上げたこと。ロッド全体が曲がるように設計しました。メバルは下へ潜ろうとする習性があります。ロッドの反発が強すぎると魚は暴れやすくなりますが、ロッド全体が曲がることで暴れにくくなるのです。さらに竿が曲がることによってラインの負荷が軽減し、ロッドが復元しようとして魚を浮かせる力に変わります。こうすることで、ロッドの性能を使ったメバルとのやり取りが楽しめます。

やり取りで注意したいことはドラッグ設定。緩めに設定すると根に潜られる危険性が大きくなり、釣りになりません。メバルの場合は20センチを超える引きが強くなり、ベリーからバットの復元力を使ったりリフトをするためには最低でも500g程度のドラッグセッティングが必要になります。また、メバルは表層やボトムと幅広いレンジにいるため、横と縦の釣りを駆使する必要があります。それに対応するためにティップは絶妙な張りをもたせたソリッドにしています。

遊び心は忘れずに、飽くなき向上心を強く持つ、そんなアングラーにおすすめ

# Advancement SBR-74

アドバンスメント SBR-74



販売価格：41,000円(税抜)  
詳しくは別冊カタログP.14 もしくはwebサイトへ

ティップはチューブラータイプでハードルアーやメタルジグも使える

多種多様で無数にあるメバルのアタリを可能な限り感知するため、チューブラーティップモデルを採用。継には逆並継ぎを採用したことでチューブラーティップと相まって、バランスがよくなり、抜群の振り抜けで1gのジグヘッドを風速10m超えの爆風の中でもコントロールよく投げられます。

抜群のバット(元竿)パワーと繊細なベリー(穂持ち)によって15センチのメバルでも尺超えのメバルでも対応できます。

また、7・4ftというレンジス(長さ)でも長さを感じさせないぐらい取り回しがよく、使いやすいロッドに仕上がっています。このSBR・74は通常のメバルロッドを想像する少し異種に感じる程の張りをもたせてあります。

このブランク(竿の芯)には30tカーボンを使い、張りが強いけれど曲がるようにテストを繰り返しました。

しかし、曲がりっぱなしではなく復元力も持ち合わせているため、ラインへの負荷を抑え、無理なく魚を浮かせることが可能です。

ロッド自重の軽量化と、流れ・ヨレがわかる高感度設計で、魚の居場所を素早く感知することが容易になりました。釣り場を選ばない7・4ftのレンジスで遠投性能もあり、軽量ジグヘッドから少し重た目のリグでのダイブエリアの操作感もストレスなくプローチが可能。通常のフラスキングゲームからトップゲーム、またメタルを使ったゲームゲームに激流エリアでの操作性もストレスは感じさせません。

# Jig Head

ジグヘッド編

ジグヘッドの開発は捕食行動を  
実際に観察してヒントを得る

ジグヘッドを作るために最初にやることは、作ろうとするジグヘッドの線径と長さを決めてアイ（リーダー）などを結ぶ丸い穴）と針先と返し（魚がハズれないようにする部分でバープともいう）を付けてもらった生バリ（焼入れしていない柔らかい鋼材）をもらい、適当に思いつくままに曲げることからはじまります。

通常50種類くらい適当に曲げます。ただしアジのジグヘッドを作る場合は「ある条件」があります。過去にアジのアタリのメカニズムを分析したのですが、その中でわかったことがあり、それ以来34のアジングフックの形状には一つの約束事ができました。

ある時、水面下に浮いているアジを釣りながらよく観察しているとワームを吸い込んだり吐き出したりしているのが見えました。しかしロッドには何も伝わってこないことはありません。ロッドが原因かもしれないと色々なロッドを取り替えても結果は変わらず。不思議に思い、後日水槽に飼ってあるアジの前でビデオカメラを置き、糸につけたワームを垂らしどのようにアジが口に入れるのかを観察してみました。するとアジが口に入れて吐き出すまでの時間は平均0.2秒と凄まじいスピードであることが判明。人間の反射神経では絶対に反応できない速さで吐き出してしまいました。少なくともアジがワームを吸い込んだ瞬間にアワセることは人間業では不可能です。

それでは僕らが感じる「コンツ」という金属で石を叩いたようなアタリ感覚は何なのだろうと観察を続けてみました。するとワームを吸い込んだアジが喉の奥まで入れてしまえば吐き出せない個体がいっぱい出てきました。このアジの吐き出すまでに要する時間が平均3秒。この時間なら例えば10m沖の5mの水深のボトムであっても私たちが反応するのに十分な時間です。さらに観察を続けるとこのようなア

豆アジをフッキングするために考案したジグヘッド

## ザ豆

ザマメ

販売価格：400円（税抜）

詳しくは別冊カタログP.6もしくはwebサイトへ



豆アジをフッキングするために  
考案したジグヘッド

豆アジを掛けることは難しい。アタるのに掛けれない悔しさから、豆アジ専用のジグヘッドの製作プロジェクトが立ち上がり、製品化しました。

まず、なぜ豆アジを掛けるのが難しいのかを考えました。豆アジは群れで動くことが多く、群れの大きさやアジの活性の高さにより食い方が違ってきます。アタリが多くあるときはおおむね豆アジの活性が高いことが多く、活性が高いが故に吸い込んだり吐いたり短時間で繰り返すことと同時に、豆アジ故に口が小さいのでフックを吸い込みきれないので掛けることが難しいのです。

そこで、「ザ豆」は、豆アジの口の大きさに合わせて小さいフックを採用。豆アジのリリースを考えてバープレス（スレ針）だが外れにくい、という絶妙の独自形状。フックの基本的な形状が決定した後はいつものように生針を何十通りも曲げ、焼いてはテストを繰り返して、最終的に絞ったのが6種類。

結果、フックの線径はこれまで34で製作したダイヤモンドヘッド等の線径、0.51ミリよりもさらに0.08ミリ細い0.43ミリに。細いけれども頑丈になるよう、バナジウム合金鋼100カーボンを使用することで感度が上がり、鋭い針先が長持ちし今まで以上に刺さり込みがよくなりました。

ヘッドはアイ側を平面にし、表面積を広くすることによりリフトした際の抵抗が増し、軽量ジグヘッドの存在感を増幅させ見失うことを防ぎます。ヘッド下部は船底のようなキール形状にすることで、水流を後方に流して水平姿勢を保ちます。



ジがけっこういて盛んに吐き出そうともがいていました。アタリの正体はアジが吐き出せないときに出されるシグナルだとのときに初めてわかりました。とするならば、吐き出しにくくすればアタリの数は必然的に増える。それを実現させるには既存の針の形状ではなく、新しい形状を考える必要があります。通常の針は、いかに違和感なく飲み込みやすいかを追求しており、「吐き出しにくさ」を追求した針は、その当時に現存した形状では一本もなかったからです。そこで生バリをもらい自分で曲げることにしました。

吐き出しにくい針形状を懐を広く「オープンゲイブ」と言い今では当たり前のアジングフック形状になっていますが、針先を外に少し向けることでアジが吸い込んだときに喉のどこかに針先が触れ、吐き出せなくする形状です。これこそが34におけるジグヘッドの絶対条件。アジの収餌方法がその辺りのものを丸ごと吸い込むので吸い込みやすさを考える必要がなかった。オープンゲイブ形状が成り立ったのです。

そしてさまざまな形に曲げた針を焼いてもらい、海に行きテストをします。その際のテストは僕一人で数を釣らなければならぬので、今なら福岡にいるので吉岐に行きますし、昔は愛媛が近かったので愛媛でテストをして50種類の針を10種類くらいに絞り込みます。その10種類を今度は5本ずつ同じ形状に曲げて今度はスタッフと一緒にそれぞれがテストをして3種類まで絞り込みます。この3種類をそれぞれ10本ずつ曲げて今度は10人でテストをして1種類に絞り込み最終形状を決めます。

フックの形状が決まれば今度はヘッドのデザインを考えます。フック形状によりヘッドの形状も変わるの

でフックが決まるまではヘッドデザインはできません。すべてのジグヘッドをこのようにして作っていくのでかなり時間がかかります。しかしこうして手間暇をかけて作ったジグヘッドは絶対の自信を持って世に出すことができるのでこれは34の伝統として守り続けていきたいと思います。

アジのほか根魚にも有効!

# Glitter head

グリッターヘッド



※試作品のため実際の製品とは異なる場合があります

販売価格：未定

詳しくは別冊カタログP.5もしくはwebサイトへ



## 「メタルジグ」と「ジグヘッド」の中間のようなアイテム

下部に船底型のソールが備わり、通常の重さのジグヘッドよりスローフォール中にトゥイッチしたときに、水の抵抗を受けて本体が左右にタートします。

ひととき目を引くカラーは、一緒に開発テストをしていたレディースタッフがネイルアートのカラーリングを施したものが原型です。フィールドで実釣してみると、アジやメバルが今まではまったく違う反応を見せてくれました。特にメバル反応がよく、大小問わず通常のジグヘッドを使う場合に比べてもアタックの仕方がまったく違います。これは一度使ってもらえればよくわかります。



器用にカラーリングを施して、一般的なジェルネイルと同様に紫外線に当てて固める。手先の器用さと根気がいる作業だ(実際の製品ではありません)







販売価格：400円(税抜)  
詳しくは別冊カタログP.6もしくはwebサイトへ

完全オリジナルショートシャंकフックを採用

## STREAM HEAD

ストリームヘッド



テンションを張るだけで  
勝手にフッキングするジグヘッド

「豆アジを釣りたい」という課題と、グレ(メジナ)釣りでの落とし込み釣りで使われることがあるフライフックのアイデアをベースに研究を重ね、完成したのが独自のオープンゲイブを採用したストリームヘッド。また、ストリームヘッドでは、完全オリジナルショートシャंकフック(針の軸部分が短いもの)を採用しました。ショートシャंकだからこそワームの稼働域が広がリアクションが変わります。

また、独自のオープンゲイブがもたらす脅威のフッキング力と潮受けのよいスリットを入れることにより、操作感が抜群によい形状になりました。初心者の方から、エキスパートの方までアジングをより楽しめます。

吸い込みやすく吐き出しにくい一口サイズで、口が小さく吸い込みの弱い豆アジも、捕獲率UP。もちろん、大型のアジ、メバルにも対応する強度を兼ね備えています。

ご使用に当って、少し工夫をして頂きたく必要があります。このフックは何もしなくてもフッキングします。そのため、通常のタイミングでアワセるとスツボ抜けます。ラインを張るように止めると間違いないフッキングしますし、ワンテンポ遅らせてからアワセると確実にフッキングします。

特に小さいフックのため、同時進行で開発していたワーム「Jr.」との相性が抜群。Jr.のヘッドの長さをシャंकの長さに合わせているので動きが抜群によいです。このふたつを組み合わせた場合、キモはアタリを感じても即アワセしないこと。1テンポ遅れて合わせるぐらいがベストです。

軽量ジグヘッドでありつつレンジキープが可能

## ZEROGRA HEAD

ゼログラヘッド

販売価格：550円(税抜)  
詳しくは別冊カタログP.5もしくはwebサイトへ



ブランクトンを意識した  
ジグヘッド

アミ・ブランクトンパターンが主流となっている今現在のアジングシーンにおいて、軽量ジグヘッドの使用は必須のものとなっています。

しかしながら軽量ジグヘッドが苦手という方も多く、レンジキープが非常に難しく感じる方も多かったのが現状でした。そんな問題を解決すべく開発したのが「ゼログラヘッド」です。

ゼログラヘッドは、鉛に樹脂コーティングを施すことで誰でも超スローフォールが可能になるジグヘッドです。また、軽くテンションを張るだけでレンジキープが可能です。樹脂コーティングの分、体積が増えることでジグヘッドの存在感も感じやすく、軽量ジグヘッドが扱いやすくなります。操作方法は、軽くラインテンションを張るだけ。テンションを張るだけでレンジキープが可能です。

深いレンジに入りたい場合は、フリーフォールで落とすとその他のジグヘッドより多少遅くフォールする程度で同じように狙いのレンジに投入することができます。

不思議なことにテンションをかけるとすぐに横に水平移動するようにレンジキープできるため、今までロッドワークでレンジキープしていた作業がほとんど不要になります。超スローにさびく程度でOK。余計なアクションは、レンジキープの妨げになるので要注意。糸フケの分りルールを巻き回すだけです。アタリがあっても大アワセは必要なく、手首で軽くテンションを張るだけです。



販売価格：380円(税抜)  
詳しくは別冊カタログP.6 もしくはwebサイトへ

きら  
煌めきの効果と 34 独自のオープンゲイブフック形状

## Diamond Head

ダイヤモンドヘッド



### アジの煌めく物に反応する 習性を利用したジグヘッド

ヘッド部分がダイヤモンドのカット面のような多面体になり、光が当たることによって煌めきが発生。また、真っ直ぐぶれることなく沈み、少しの水流の変化も表面が色々な角度で受けるので抵抗の変化もかなり感じられます。フックの形状はかなり特徴的なオープンゲイブにしています。

アジが餌を吸い込むスピードは0.2秒。フックの素材もより刺さり込みやすいように細い線径を採用し、折れにくいよう、カーボンを鋼材に多く混ぜ、硬く加工をしています。フックの形状と相まって針の懐(一番曲がっている所)までスムーズに刺さり込み、ほとんど伸びません。

このジグヘッドの煌めきを利用したメソッドはとても簡単。煌めきを意識して小さなトゥイッチを2回程繰り返します。従来のフォールメソッドは、落としてから引きますが、ここでは引かずにそのまま落とすします。途中でもう1回軽くトゥイッチを入れても有効。ただしあくまで上下の動きだけで探ります。イメージ的にはポトム30センチを2回に分け上下に動かすというイメージです。ポトムバンピングとは少し違うのですが、完全フリーで落とします。引き上げる距離がそれ程でもないのですぐにポトムに着き、慣れるまでは突然引つたぐらえたり、次のトゥイッチで魚が掛かっていたりして慌てますが、慣れてくるとアタリがわかるようになります。ほとんど引かずに少しづつ「チョンチョン」とティップを動かして、ジグヘッドを煌めかせイメージで動かせばOKです。

大きくアタリを感じることができるメバルに特化したジグヘッド

## Driver Head

ドライバーヘッド



販売価格：420円(税抜)  
詳しくは別冊カタログP.7 もしくはwebサイトへ



### メバルの初心者でも 扱いやすいジグヘッドの完成

メバルは餌に対して反転するような動きが多いですが、アジのように吸い込み系の捕食行為をすることもあります。この場合の釣り方のほとんどはアタリはテンションフォール時やステイさせたときに出ることが多く、活性が低かったり食いが渋かったりする時の状況がほとんどで、吐き出しにくいフック形状であればアタリも大きく出てフッキングさせやすいのです。

しかし、反転して捕食する際にフッキングする形状があれば、さらにアタリを多く感じ釣果に直結するのでは、と考察しました。このヘッドの特徴は、通常のジグヘッドであれば鉛がシャックはまっすぐ出ていることが、すぐに斜め上へ上がっていることです。そのため、ワームは斜めに抜くようにセツトするとまっすぐに刺せます。

シャックの工夫で反転バイトや吸い込みバイトはもちろん、アワセ遅れになってしまってもしっかりとフッキングして吐き出されにくいフック形状のジグヘッドができました。

鉛の形状はストリームヘッドからヒントを得て、水の抵抗を最大限上げられるように鉛の表面積を大きく設計し、引き抵抗も大きくしたことで、軽量ジグヘッドを操りやすくなりました。この抵抗は、テンションフォール時の居食いバイトを感じやすくなることにも貢献しています。

ヘッドの形状を先端を鋭くすることで、軽いトゥイッチでも簡単に左右にダートさせることが可能です。リアクションバイトを誘発できます。また、飛行姿勢も安定し、飛距離も、よく探れる距離が広くなりました。



販売価格：450円（1pac 8個入・税抜）  
詳しくは別冊カタログP.2もしくはwebサイトへ

プランクトンパターンの最強ワーム

# PLANKTON 1.8

プランクトン 1.8



WORM

ワーム編

※写真はイメージです。実際の製品とは色が異なる場合がございます

## 2本の細いテールと極小ボディが 抜群の吸い込みを実現

近年、海が富栄養化してきたことで小魚を主食としたパターンからアミ・プランクトンを主食とした食性の変化が顕著になってきました。アミ・プランクトン類は、潮・波風の変化にさらされ、塊となって潮目や防波堤際に溜まってきます。小魚と違いアジから逃げることもできないため、アジとしては簡単に捕食できる主食となってきました。そういった食性の変化から、これまでの「動」から「静」の、いわゆる《動かさないアジング》が必須となってきており、そのパターンに対応するべく、ゼログラヘッド、PSR、60 THE NEXT STAGE、そして今回のプランクトン1.8の開発となったのです。

このワームの最大の特徴は、テールに秘密あり。プランクトン1.8は、通常のツインテールに見えますが、2本の細いテールが対角に配置された特殊形状です。一見1本の棒状に見えますが、実際は半分に分けて対角に配置されているため、非常に体積が少なくなっています。

要するに見た目は存在感がありますが、実際は体積が少なく、アジの吸い込みやすい形状となっています。そのため、アジのサイズを選ばず、どんなサイズのアジにもしっかりアピールでき、抜群の針掛かりを可能にしました。

小さなボディは、細かなリブを深めに入れることで折れ曲がりやすく、この点も吸い込みやすさに相乗効果をもたらしています。これ一本であらゆる状況にも対応できます。

ファット系だが分割されたボディとスリットが抜群の吸い込み易さを実現！

# TADPOLE 1.6

タートル 1.6



販売価格：450円（1pac 8個入・税抜）  
詳しくは別冊カタログP.3もしくはwebサイトへ



※写真はイメージです。実際の製品とは色が異なる場合がございます

## ファットなワームが欲しい この一言から開発が始まった

- ・ファット系のワームの利点は、
- ・体積が大きいいため、自重があり飛距離が出やすい
- ・体積が大きいので、スリム系と比べフォールスピードが遅くなる
- ・太さがあり見た目のアピール力が強い
- ・逆に欠点は、
- ・体積が大きい（太い）ため、吸い込みに対する抵抗が大きい
- ・ざっと上げるとこんな感じですよ。

最近では全国的にジグヘッドのウエイトを軽くして、スローにより長くアジにワームを見せないと口を使わない状況が多いのが現状です。ファット系の利点をうまく利用し、欠点の吸い込みに対する抵抗が大きい部分を解決すればより簡単にアジングができるのでは？ と形状を考えました。ボディに縦にスリットを入れシルエットはファットに、テール部分はバドル形状でアクションのときの波動を大きく出せるようにしています。スリットを入れることで自重は多少軽くなりましたが、通常のワームよりも軽く飛距離は抜群に出ます。また、表面積が増えたことで水への抵抗が増えよりスローフォールし、長い時間アピールすることができ、全国で一般的なアミパターンでの攻略がこのワームを使うことでより簡単に操作できるようになっています。

また、ワームの横スリットの位置をダイヤモンドヘッド・ストリームヘッドをセットしたときに針先が出る位置に調整しているので、ワームをセットするときにもストレスを感じないように工夫してあります。



テールの球からでる微波動がアジを刺激しアジのバイトを誘う

# Orbee 1.6

オービー



販売価格：450円 (1pac 8個入・税抜)  
詳しくは別冊カタログP.3もしくはwebサイトへ

※写真はイメージです。実際の製品とは色が異なる場合がございます

## 34のド定番ワーム 衰えることない人気ワーム

実はこの「オービー」は34が発足した約4年前、すでにサンプル品として存在していました。その頃はアジング専用のワームが欲しくて現在ある「オクトパス」や「メデューサ」をリリースさせて頂きました。では何故このオービーはリリースを見送ったかと言うと、テスト中にアジ以外の魚が異様にバイトしてきたのです。

現在ではメバル部門を立ち上げメバル専用のワームよりも、ライトゲーム全体として使えるワーム開発をしようとコンセプトを挙げ、再度過去のプロトタイプを改良してテストが始まりました。

結果は4年前と変わらず、アジ・メバル・カサゴ等々のライトゲームで狙えるターゲットが簡単に口を使ってくれました。

また、34では当たり前となっている全国各地でのテスト釣行でも良好な結果がでています。

オービーの特徴は、名前の由来にもなった2つの球形状。通常のピンテールでは動き過ぎる部分をこの玉で動きを抑制し、リトリブ・テンションフォールのどちらでも同じようにナチュラルに誘えます。このことにより、他のワームとの波動を変えられるのでワームローテーションの幅がさらに大きく広がりました。

そしてオービーは、ほぼ全国的にバイトとして存在するアミ類を捕食しているフィッシュイーターに無類の強さを誇ります。動き過ぎないナチュラルな波動を、是非ご体感ください。

異質なボディ形状がハイアピールを演出する 34 のパイロットワーム

# Chimerabait 2.0

キメラバイト



販売価格：450円 (1pac 8個入・税抜)  
詳しくは別冊カタログP.3もしくはwebサイトへ



※写真はイメージです。実際の製品とは色が異なる場合がございます

## 活性が高い、低いに関わらず アジの目をひくワームの完成

このワームを作る前に「J.R.」を2つ付けする「ダブルJ.R.」という釣り方をしており、外房のシャローで抜群の効果を発揮していました。

志岐にて「ダブルオクトパス」はどうかと試したところ、他の人が釣れない中、ほぼ一投一匹の入れ食いになったのです。

しかし、このダブル付けは非常にジグヘッドに刺すことが難しく、後から通すワームが立つてしまいました。本来は二本が重なることが理想ですが、それが中々うまくいかず、刺し方をかなり工夫しましたが、釣れるがストレスが溜るという何ともいえない気持ちになってしまいました。

ダブルオクトパスの利点は、ワームが増えることで体積が増し、浮力が増えスローフォールになることにあります。それ故にレンジ(棚)キープがしやすくなり、重さが増すことで飛距離が増えるのです。

このスローフォールの部分に着目し、今僕らがやっているスローアジングにも、もっと対応できるように、下部にエアポケットを作りました。海に潜っての目視確認をしたところ、ボディは余分な動きを見せていませんでした。むしろ、テールが左右に開く動きではなく、先の方1センチ位が上下に開くように動き、細かな波動を出しているようで、僕が潜っているにもかかわらずアジが後ろからくわえるのが見えたのです。

この「キメラバイト」は、活性が高いとき、低いときに関わらずスローフォールと特異の形状でアジの目を引き、アジにとってはたまらないご馳走に見えるワームだと思えます。



販売価格：450円（1pac 8個入・税抜）  
詳しくは別冊カタログP.3もしくはweb サイトへ

## プランクトンパターンの最強ワーム

# FISHLIKE 1.5

フィッシュライク 1.5



※写真はイメージです。実際の製品とは色が異なる場合がございます

**波動の強弱を使いわけることができるワーム**

外房のデリアレンジングでイワシの稚魚についてアジが入って来たことがあり、アジ達も夢中になってその小さなイワシを食いあさっていました。このことからこの小魚を模した形状でワームができないかと考え、開発を始めることになりました。フォルムは小魚のようにし、1.5 in というサイズから「ストリームヘッド」と「ザ・豆」のジャンク（針軸）に合わせました。

問題はテールの形状で、最初は「金魚や熱帯魚のようにフワフワさせた方が面白いのでは」「テールの一本だけ伸ばした方がアピールが強いのでは」と、色々な意見がありました。

そこで、ボディ本体下部に魚の腹びれ一本フィンを付け、横からの波を受けたときに抵抗が増すようにし、横波を受けたときにワーム自体が不安定な動きをするようにしました。その隙を狙ってアジが食いつくように頭とボディの境には凹みをつけ、大きく動かしたときにはじめてボディまで動くように改良しました。

テールは実際の魚のように似せたのですが、できる限り薄くし、波動が小さくなるようにしました。この「フィッシュライク」の最大の狙いはアジの活性の高低に関わらず通用するワームであるということです。

ヘッドのくびれと薄いテールが特徴で普段のロッドアクションでは薄い尾びれの部分が微妙に動き小さな波動をだし大きくしゃくったらヘッドのくびみから曲がりかなり強い波動を出します。

## アジが吸い込みやすい形状と質感を追求したワーム

# MEDUSA 2.8

メデューサ 2.8



販売価格：450円（1pac 8個入・税抜）  
詳しくは別冊カタログP.4もしくはweb サイトへ



※写真はイメージです。実際の製品とは色が異なる場合がございます

**タイラバをヒントに産まれた高活性時の切り札**

アジは、吸い込み系の魚だと言われます。コイのように口の前に伸び吸引して餌を取るのが特徴なのでアジが小さくなればなる程、吸引力が弱くなり、また口の大きさが小さくなるのできれいにアタリがあってもアワセるのが難しくなります。

原因はワームの柔らかさと形状だと思われまます。ワームを吸い込むときに柔らかければ柔らかい程吸い込みやすいのはどなたでもおわかりになると思います。

では形状は？ どの形状が一番吸い込みやすいのか？ メデューサ開発のきっかけとなったのはタイラバですが、僕は趣味で仲間とやっております。そのときに、突然アジがアタツて来るのですが釣ってみると、アジはしっかりとネクタイを吸い込んでいます。ご存知のようにタイラバのネクタイはただのゴムなので本当にクニヤクニヤです。しかし長さは約15センチ程ありますので、かなり長いのですが平気で吸い込んでおります。

泳いでいるアジは熱の放出が激しく氷をすすにしても大量の氷水でないと自身の熱で身焼けが生じてしまいます。

それ位カロリーを消費しているのだからカロリーを摂取しないとたないのです。ですから大きなベイトは、数を取らなくても大量のカロリーを摂取できるので体長に関係なく食べるのだと僕は考えます。そうすると大きく見えて吸い込みやすいものも一番よいわけです。おときのベイトパターンにも因りますが、おおむねそのことがいえると思います。そこで、このような製品が生まれました。

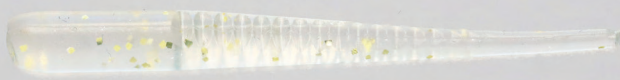


販売価格：450円（1pac 8個入・税抜）  
詳しくは別冊カタログP.4もしくはweb サイトへ

呼び名はタコ。

# Octopus 1.8

オクトパス 1.8



※写真はイメージです。実際の製品とは色が異なる場合がございます

## フオールでもリトリープでも アジを誘う微波動

開発当初は、色々とサイズを変えてテストをしていたとき、非常にタコに似た形になったときがありました。以来、開発ネームは『タコ』となり、開発ネームそのままの命名となりました。アジのサイズをそのままフオール（縦の釣り）でもリトリープ（横の釣り）でもどちらのメソッド（釣り方）をお使い頂いても非常によく釣れるワームが完成。アジだけでなくメバルにもお使いいただけます。

ワームの動きを海で潜って見て確認した所、テールが小さく震えており、その微波動が伝わりバイトを誘発させることがわかりました。アピールすることが、重要ではない。そのときに私たちが追っているベイトの自然な動きに近付くことが理想。

そのために水中で潜って見つけた微波動の法則。それがこのオクトパスの最大の特徴。リップ（凹凸）なのです。しかもアジにもメバルにも一口サイズです。ダイヤモンドヘッド（35ベージ）の開発も同時進行ということもあり、34のジグヘッド、ダイヤモンドヘッドのシャヤク（針軸）の長さをワームの折れ曲がりポイントに合わせてることにより、吸い込みパワーも格段にアップ。

折れ曲がりポイントに合わせているから、その先のリップがしっかりと役割を果たしてくれます。スレたメバルを釣るときに、少しでも掛かりやすいよう、そのように調整しましたのがきっかけですが、小さなアジのフッキング率も大きく向上しました。そしてメデューサ同様驚きの耐久力を実現しました。

## アジが低活性なときほど効果的で困ったときのジョーカー

# Jr. 1.3

ジュニア 1.3



販売価格：450円（1pac 8個入・税抜）  
詳しくは別冊カタログP.4もしくはweb サイトへ

※写真はイメージです。実際の製品とは色が異なる場合がございます

## さらにマッチ・ザ・ベイトへ

最近では、海水が富栄養化したためにアミやプランクトンなどが増え、従来ならアミパターンは小魚が少なくなる冬場だけでしたが、アジやメバルは年柄年中アミやプランクトンを食べており、釣り上げたアジのお腹には何も入っていないということが多々あります。

そのようなアジやメバルの食性の変化に伴い、釣り方も激しく動かすリアクション系から動かさないスローアジングへと変化していきました。

水中に浮遊するアミやプランクトンの塊の中に、いかに長い間ワームを置いておくか、いかにナチュラルに存在させるかが釣り方の基本になりつつあります。

そんなときに多用するのがこの『Jr.』なのです。

ただ単にダウンサイズ化するだけでは意味がありません。

魚をスレさせない微波動を生む、ノコギリ刃のようなギザギザの三角リップもジュニア1.3インチ専用設計しました。

また、ワームがショート化することでワームのボディに張りが出て動きが変わるのを、スリット（溝）を両面に入れることで、柔らかさと動きを調整することに成功しました。

アジが釣れなくて困っている方「馴染みの演出」の『Jr.』を是非お使いください。アジングの世界が開けるかもしれません。





S キャリーを簡単に装着できる S タッチ (別売) の使用例

ジグヘッドの釣りの操作感をそのまま沖へ

## S CARRY

エスキャリー

販売価格：560円(税抜)

詳しくは別冊カタログP.7 もしくはweb サイトへ



Other items

その他の釣具編



オモリのように浮力があるため  
軽量ジグヘッドを沖でも使える

S キャリー全アイテムは、若干の浮力をもたせて浮力調整してあり0.4gのジグヘッドと同等の沈下スピードで沈みます。ですから0.4gよりも重いジグヘッドを使用すると通常のキャロライナリグ(中通しオモリ)と違いジグヘッドが先行する形で沈んでいきます。

通常は遠くを釣るために重量ジグヘッドを用いますが、そうすると重いので早く沈み表層や中層に漂っているアジやメバルを釣れません。しかしS キャリーを使用すると遠くを釣るのでも軽量ジグヘッドを使用することができ、陸からの軽量ジグヘッド単体と同じような感覚で沖の表層中層にいるアジやメバルを釣ることができます。

釣り方は、各アイテムの重さは飛距離で選択し自分が釣りたいポイントまでの距離で選べばOK。投入後カウントダウン(数読)して任意のレンジ(棚)まで沈めた後に小さくトウィッチ(しゃくり)を2回入れた後にアタリがなければまたトウィッチを入れテンションフォール。それを繰り返します。

その際に重要なのがジグヘッドの重さで食わなければ重さを覚えてその状況にあったジグヘッドの重さを探ることが大切です。

風が強いときには、下部の浮き止めゴムの下側にガン玉のBから3Bを付けてもらうと水面から上のラインの抵抗をその重さで取ることができるので、馴染むのが早く安定します。

装着が便利なS タッチを併用すると手返しがよくなります。

人に見えやすく、魚に見えにくいライン

## PINKY

ピンキー

販売価格：1,500円(税抜)

詳しくは別冊カタログP.1 もしくはweb サイトへ  
0.2号/0.25号/0.3号/0.4号/0.5号



重要なのはラインの伸びと太さ  
人に見やすく魚が嫌わない色

ピンキーのピンク色はアジングのメインタイム、夜間のライトの下でよく目立ちラインの動きでアタリを取ることができます。アジングではキャストした後、ボトムを取るためにフリーで落としているときにアタることともよくあり、人にとってラインが見やすいと、着水からカウントダウンをしていればアジのいるレンジをいち早く見つけられます。

とはいえ、ラインの色は見やすければ何でもよい訳ではありません。色によっては魚が忌避する色があります。さまざまな状況下でのフィールドテストでピンク色に関しては人に見やすく魚が忌避しない色でした。

また、ラインのほかアジはベイトによりアタリの出方が変化するため、ジグヘッドの重さも変える必要があります。重いジグヘッドの場合はどんなラインでも沈むので構わないのですが、1g以下の軽いジグヘッドでないとい食わない時も。そうした時に太いラインやPEなど浮くラインでは表面張力の影響でジグヘッドが沈み難くなります。

ラインは細いほど、抵抗が少なく沈みやすくなりますが、細くなればなるほど伸びます。伸びがあるとアワセ遅れをしてしまいがちです伸張率の高いラインだとそれが顕著です。ラインが伸びると小さくトウィッチを入れたつもりでもティップに水圧がかかりジグヘッドをリンクさせて、動かすことができます。そのため、ティップすなわち手の動きとズレが生じてアタリも取りにくくなります。ピンキーは、素材にポリエステルを使用し、ほとんど伸びがなく、比重も1.38あるので浮くこともありません。

結節強力も高くそして、  
根ズレにも強い耐摩耗性を発揮する

# JOINT LINE

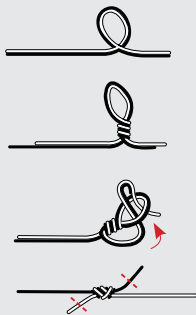
ジョイントライン



販売価格：980円（税抜）  
詳しくは別冊カタログP.1 もしくはweb サイトへ  
0.8号 / 1.2号 / 1.7号



### トリプルエイトノット



- ①重ね合わせたリーダー（白）とメインライン（黒）のまん中をつまんで輪を作る
- ②輪を三回ひねる。輪に指を入れて回すとやりやすい
- ③ひねってできた輪の中に、任意で決めた長さのリーダーの長いほうとメインラインの短いほうを一緒にくぐらせる
- ④両方を引き締めて余分なラインをカットすれば完成。締め込み時はツバなどで濡らす

不意の大物にも安心！  
ドラグの効きを実体験できる



販売価格：3,450円（税抜）  
詳しくは別冊カタログP.18も  
しくはweb サイトへ

# META GREASE

メタグリス



伸びがないエステル系のラインをサポーターする100%油のグリス

エステル系ライン（ペンキ）のアジングにおける利点は数えるときりが無いぐらいあります。しかし、伸びがないラインであるため、必然的にドラグ設定を緩めにしなければなりません。そのために取り込み時間がかり、どうしても魚に主導権を握られがちになります。メタグリスを使うと、粘りによって魚の走りを止めることができます。

原料は100%「油」で、シリコン系グリスではなく「ウレア系グリス」。釣具にはほとんど使われることのない高級素材で耐熱耐水に優れており、使用頻度の高い我々でもなかなかグリスの性能が落ちません。

均一構造の高品質・高強力フロロカーボンを100%採用

理想のライトゲーム専用フロロカーボンリーダーとなるラインです。直線性に優れ、糸グセも少ない上に、結節強力も高く、そして、根ズレにも強い耐摩耗性を発揮します。また、高感度ポリエステルライン『Pinky』との組合せにより、その驚きの感度をより発揮します。携帯しやすいコンパクトスプールなのに安心の50m巻です。リーダーをメインラインと結ぶのは、トリプルエイトノットがおすす（左図）。

これまでのPEの概念、  
強度を超越《Surpass》したライン

# SURPASS

サーパス



販売価格：0.175号 3,800円 / 0.25号 3,600円（税抜）  
詳しくは別冊カタログP.1 もしくはweb サイトへ

ボートアジング専用の  
高強度&極細ライン

ボートアジングでは、重いナス型オモリを使用するためラインの比重は関係なく、潮流の影響を受けにくい、より細くて伸びがないPEラインの利点を最大限に活かすことができます。

0.175号は、ボートアジング専用設計し、極細PEでありながら4本組のため、非常に高強度。抜群のライン立ちでアタリを明確に伝えます。

0.25号は適度な張りが圧倒的な飛距離をもたらす、ブラッキングゲーム等に最適でライントラブルの少ない快適な操作性を実現します。

リールのハンドルを変えて軽量化!

世界最軽量 11.1g

# ZEROGRA DOUBLE HANDLE 4

ZEROGRA ダブルハンドルⅣ



販売価格：24,000円(税抜)

詳しくは別冊カタログP.15もしくはwebサイトへ

## <使用上の注意>

ハンドルは非常にデリケートな製品です。通常使用では強度面に問題はありますが、落下させたりぶつけた際にハンドルの曲がりやノブの割れといったことが生じる場合があります。くれぐれもお取り扱いにはご注意ください。

ハンドルが長く扱いやすくなり  
かつ前作よりも軽量化に成功

ハンドルピッチ(幅)は、65ミリと前作から2ミリロング化。ロング化したにも関わらず、その重量は11.1g(ダイワ対応モデル)と前作から24.5%もの軽量化に成功しました。

このモデルでは、ノブの見直しから入り、これまでの樹脂(POM)からアクリル樹脂へ変更。アクリルの大きな利点は、軽くて硬いという利点があります。硬ければ当然、感度面の向上が図れます。

重量も樹脂(POM)に比べ20%軽く、形状変更も伴ってわずか1.0gのノブが完成しました。

超々ジュラルミン(アルミニウム合金の一種)から削り出したプレートやシャフトも、細部に至るまで徹底した肉抜きを敢行。

これにより、世界最軽量(金属のダブルハンドルとして、2019年7月現在)を大幅に塗り替える、驚異の軽さを実現しました。ハンドルを変えることによってタックル全体の軽さを実感することができます。今回のノブは細く遠心力が働かないため、一見回転しにくい気がしますが、使用上まったく問題ありません。

樹脂スカートは、上側(ノブ側)に上げた状態で装着してください。装着後、リールに当たらない位置まで下ろすことで、異物の侵入を防ぎます。下りた状態で装着するとスカートがリールに接触し、ハンドルが回転しなくなり、スカートの破損にもつながりますので、以上の点をご注意ください。



ダブルハンドルを装着する=重量が重くなる。

その概念を無くしたい

# ZEROGRA DOUBLE HANDLE 3

ZEROGRA ダブルハンドルⅢ



販売価格：20,500円(税抜)

詳しくは別冊カタログP.15もしくはwebサイトへ

## <使用上の注意>

一部リールの機種により稀にベールを返した際にハンドルとベールが接触する場合がございます。キャストポジション(ラインローラーが上にある状態)では問題ありません。これは感度向上や回転プレの抑制などメリットを優先した結果です。アルマイト加工は、日焼け等により色褪せる場合がございます。

そのほかノブカラー、ノブシャフトなど細かなパーツにまでメスを入れ、極限の軽さを手に入れました。

装着方法は、バランスと併用する場合、先にハンドルから装着。樹脂スカートは上にあげた状態でリールに装着してください。リール側に下ろした状態で締めるくとリールと樹脂スカートが接触してしまい破損やキズ恐れがあります。装着後、リールに接触しない位置まで樹脂スカートを下ろしてください。

『ZEROGRAVITY』を具現化した  
ともいえる驚異の重量

前作のハンドルピッチ(63ミリ)はそのままに極限の軽量化に挑戦しました。

超々ジュラルミンにアルマイト加工を施したダブルハンドルにも関わらず、その重量は驚異の15.1g!!(ダイワ対応モデル)

前作から23%もの軽量化に成功し、シリーズ業界最軽量を達成しました。(ダブルハンドルとしてZEROGRA IIIシリーズが業界最軽量 2017年12月時点)

ノブナットを廃止し樹脂スカートのみでクリアランス調整ができるよう改良。

シャフトも前作より短くすることでさらなるダイレクト感の向上と回転プレの抑制に成功。樹脂ノブは、握り易さと軽量化を考え、大幅な形状変更を敢行。





## ZEROGRA ダブルハンドルⅢ に対応したオリジナルバランスーⅢ

# ORIGINAL BALANCER 3

オリジナルバランスーⅢ



販売価格：5,200円(税抜)  
詳しくは別冊カタログP.15 もしくはwebサイトへ



ダブルハンドル3に装着できる  
ダイワ・シマノに対応

ZEROGRA ダブルハンドルⅢに対応したオリジナルバランスーⅢの登場です。ハンドル同様のシャフトコンセプトにより大幅な軽量化とデザイン性を両立しました。バランスーシャフトの徹底した軽量化にも関わらず、外側重心となるよう調整。ウェイトヘッドに開いた3つの穴は、フックキーパーとして使用できます。ダイワ・シマノどちらでも対応しており、スカートを上下することで調整可能です。ネジ込み具合でリールにより干渉しますので、その場合はスカートを下げて調節してください。

## ZEROGRA ダブルハンドルⅣ に対応したバランスー

# ORIGINAL BALANCER 4

オリジナルバランスーⅣ



販売価格：5,800円(税抜)  
詳しくは別冊カタログP.15 もしくはwebサイトへ



重心を整え、感度が上がり  
抜けやアタリが感じ取りやすくなる

装着することでロッド・リールのバランスを整えて感度の向上、抜けアタリなどアジング特有のわずかなアタリまでも感じ取りやすくなります。フックキーパーは可動式にして使い勝手がよくなりました。ウェイトヘッドは、裏側からビス止めすることで外れにくい構造。ダイワ・シマノ共通タイプに加え、ダイワ・セオリータイプの2種をご用意。取付幅が大幅に広がりました。取付は、スカートを上下することで入り具合を調整可能です。ネジ込み具合で入り込み過ぎるとリールによっては干渉し、回転し難くなる場合があります。その場合はスカートを下げて(ネジ側に下ろす)調節してください。

身の回りをシンプルに!  
手早くジグをセットできる

## MINI SHOLDER BAG

ミニショルダーバッグ



販売価格：4,500円(税抜)  
詳しくは別冊カタログP.17 もしくはwebサイトへ

ライトゲームにピッタリ  
使い勝手を追求したミニバッグ

ライトゲームにピッタリなミニバッグが登場。メインとなるポケットにはスリムケースとジグヘッドケースが両方収納可能。前面のファスナー付きポケットにはジョイントラインが3つも入り、ほかにも携帯電話や小物を収納できる余裕もあります。アジングやメバリングで楽しむには十分な収納量。ダブルジッパーにより左横まで大きく開くことが可能で、中身の取り出しやすさも抜群。裏面にはモールドベルトがあるのでベルトやFREELYレック&バッグに装着することもできます。正面のロゴ入りベルクロワッペンを取り外すことができ、別売りのダストポーチなどにも貼り付け可能。

リールを6個まで収納可能!  
自由にレイアウトができる

## 34 REEL BAG

34リールバッグ



販売価格：6,600円(税抜)  
詳しくは別冊カタログP.17 もしくはwebサイトへ

リールの保管や  
遠征時の運搬にも使いやすい

リールの運搬や保管には気を遣うもの。ましてやその個数が多くなるにつれてその心配は増します。そこでこのリールバッグ。保管はもちろん、遠征などの移動時にも大切なリールを傷つけることなく収納いただけます。仕切りは取り外し可能で自由にレイアウトを決めていただけるのでさまざまナリールサイズにも対応。リール以外にもワームやジグヘッドケースも収納できます。フタ部分もメッシュ生地なのでポケットが付いているので小物を入れておくことができます。表側にもポケットを装備。さらにモールドパーツを取り付けてあるので、これまでに発売されているポーチなどを取付可能。

材質が変わり強度が UP!  
新しくなって新登場!

## 活かし水くみ バツカンII



販売価格：2,580円(税抜)  
詳しくは別冊カタログP.18 もしくはwebサイトへ



**海水を汲み、アジを生かして  
お持ち帰りするバツカン**

アミ付きのフタやロープなどの基本機能はもちろん、今回は材質を変更し強度はそのままに折りたたみやすくしています。よく見るとポディ全体が白の迷彩模様になっているのがポイントです。

サイズは縦22センチ×横20センチアジの活かしや締めにはピッタリです。ロープの長さは8mあるので、海面から距離がある堤防でも使えます。

堤防でもボートでも使い勝手がいい  
34 オリジナルのバツカン

## MS バッグ

エムエスバッグ



販売価格：5,980円(税抜)  
詳しくは別冊カタログP.18 もしくはwebサイトへ

**2本のロッドが差せて、必要なものがすべて収まるタツクルバツカン**

ロッドホルダー2本、サイドポケット付き。ロッドホルダーを長めにすることで安定性が増し、5〜7ftのロッドをしっかりとキープ。小さいながらもトルサイズで容量が大きく、FREELY レッグ・バッグやライフジャケットなどをまとめて収納可能です。

これ一つでふだんのランガンスタイルや離島での釣りにも最適です。

また、エンジンやボートアジングなどライトなオフショアゲームにも非常に使いやすいサイズ感です。

きれいにジグヘッドが収納できるケース

## FREELY スリムジグ ヘッドケース

フリーリー スリムジグヘッドケース



販売価格：980円(税抜)  
詳しくは別冊カタログP.16 もしくはwebサイトへ

**きれいに収めることができる  
アジングに最適なケース**

FREELY スリムジグヘッドケースは今までになかった薄さのジグヘッドケースながらも、大容量なのでランガンする際に大活躍するケース。

一体式のバツクルなので、開閉がワンアクションで行え、片手でも持ちやすいサイズ感でライトゲームには欠かせないアイテムです。既存のFREELY スリムケースともドッキング可能なのでコンパクトにジグヘッドとワームを携帯可能! まさに「ライト」ゲームを楽しむものにもってこいのアイテムです。色はブラック。

ランガンに向けたコンパクトなケース

## RUNRUN ケース

ランランケース



販売価格：800円(税抜)  
詳しくは別冊カタログP.16 もしくはwebサイトへ

**タツクルボックスを持たずに  
ランガンがしたい人向け**

ランガンをする人向けのポケットサイズの「RUN2ケース」を開発。RUN2ケース内の1/3スペースには「2層構造マット」を採用。スリットが太いので夜間でもジグヘッドが刺しやす、刺さり心地も抜群です。2/3のスペースには、34製ワーム容器を少しカットすることで入るサイズになっており、3段まで収納可能。これが一つあれば、ポケットに忍ばせ気軽にランガンができます。2/3のスペースはお好みによりカスタマイズ可能。ワームやリーダー、小物を入れるスペースとして、使ったワームやジグヘッドを入れる「リサイクルスペース」としても最適です。

ワームがケースにつかず、挟まない

## ひつつかん!

ひつつかん!



ケースは別売り(下)



販売価格: S 350円/M450円  
/L480円(税抜) 詳しくはカタログP.18もしくはwebサイトへ



ワームは頻繁に付け替えますが、特にアジやメバルの場合、当たりワームを探すのにしよっちゅう付け替えを行うため、その度に上蓋についているワームを外し、元の位置に戻すのは非常に面倒臭く、そのまま使い続けるとワームを挟み込み変形の原因になりますし、小さいワーム程ひつつきやすく戻しにくい。それを解消したのがこの「ひつつかん!」です。上蓋にメッシュのシートを貼れば上蓋とワームが密着することを防ぎ、メッシュ素材のためワームとの接点が少なくひつつかない。アジング、メバリングだけでなく、淡水のバスなどワームを使う釣りのほとんどに対応できます。

### ケースを開く度にワームが上蓋にひつつかない

ワームのローテーションがスムーズに行える

## ひつつかん! ケース

ひつつかん! ケース



販売価格: 920円(税抜)  
詳しくは別冊カタログP.16もしくはwebサイトへ



ひつつかん! が標準装備された夜でも目立つオレンジ色のケース  
ナイトゲーム中心のアジング&メバリング。釣れているこのタイミングで急いでワームを変えたい! そんな時にワームケースの蓋にひつついたワームに四苦八苦することも。交換することに夢中で焦ってしまいうことも起こり得ます。ワームのローテーションもスムーズに行いたい! そんな要望にお応えして夜でも非常に目立つ鮮やかなオレンジでワームケースを作りました。34口ゴもゴールドのホットスタンプ入です。もちろん、蓋の内側にはお馴染みの『ひつつかん!』を標準装備。34こだわりのオリジナルワームケースの誕生です。

耐久性に優れたアジ専用フィッシュグリップ

## HMグリップ

エイチエム グリップ



販売価格: 6,980円(税抜)  
詳しくはカタログP.18もしくはwebサイトへ



滑りにくく魚が掴みやすいフィッシュグリップ  
アジ専用フィッシュグリップとして開発。持ち手部分は、カーグリップより内側に形状をソフトさせ、手の小さな方や握力が弱い方でも掴みやすく、軽い力で握めます。挟む部分は、広がりをつけギガアジもキャッチ可能。グリップには、カーボン含有素材であるCFRP(炭素繊維強化プラスチック)を採用し、大幅な軽量化を図りました。カーボン含有素材は、樹脂に比べ歯の摩耗が少なく、耐久性に優れています。ただしカーボンは、薄いと割れやすいため、ホルスターは強度がある樹脂を採用。アジ専用の設計のため、アジ以外には使用しないでください。破損の原因となります。

2つ合わせれば1つのケースになるバッグの中がスッキリ

## FREELY スリムケース

フリーリィ スリムケース



販売価格: 各 680円(税抜)  
詳しくは別冊カタログP.16もしくはwebサイトへ



コンパクトで多くのワームを持ち歩くことができる  
ケースにワームを入れても隙間だらけになりがち。MEIHO社に作成依頼し完成に至りました。ジョイント式で2つのケースが1つにまとまります。FREELYレッグには3枚収納可能です。底が白くワームカラーの判別もしやすいです。厚さは驚きの18ミリ。ジョイント部分2ミリは相殺されるため、連結しても34ミリと極薄。ワームスリッパ加工の採用で蓋にワームも引っ付かずストレスフリー。MEIHO社でも同型モデルの発売がありますが、34モデルではブルー・イエローと鮮やかなカラーリングのラインナップ。



自分の好みに合わせてカスタマイズ可能な FREELY シリーズ。  
 抜群の容量であなたのアジングをサポート

## FREELY BAG

フリーリー バッグ



背中で斜めがけしてもかわいい (左上) ずらして体の前へ。ジグヘッドケースを入れておけばすぐにアクセスできる



販売価格: FREELY LEG  
 15,800円(税抜)/FREELY BAG 16,800円(税抜) 詳しくは別冊カタログ P.17 もしくは web サイトへ

## FREELY LEG

フリーリー レッグ



軍製品を製造するメーカーに依頼し耐久性が優れたバッグ

FREELY レッグはレッグバッグ、ポディーバッグ、ウエストバッグと3WAYが可能。FREELY バッグは、別売りのFREELY レッグとの組み合わせで別様の『ポディーバッグ』、『ウエストバッグ』へと可変可能です。通常使用のFREELY バッグと合わせて3WAY、2種類のバッグのトータルで6WAYへと組み合わせが広がります。モールが各所にあることでのろんな組み合わせができカスタマイズも可能。ランガン、遠征スタイルなどその日の状況や気分であらゆるスタイルに対応します。まさに自由自在なアジングバッグの完成です。

頑丈な生地を使用し  
 スマートフォンをしっかりと守る

## スマホCASE

スマホケース



ケースに入れてしっかり装着すれば、大事なスマートフォンが落ちることがない



販売価格: 3,500円(税抜)  
 詳しくは別冊カタログ P.19 もしくは web サイトへ

FREELY レッグへの取付が可能!  
 現地でアタフタせずにアクセスできる

## ユーティリティーCASE

ユーティリティーケース



上部にマチがあるので多少の厚みがあり、邪魔にならないスマートさで収納力もある



販売価格: 3,300円(税抜)  
 詳しくは別冊カタログ P.19 もしくは web サイトへ

スマートフォンをしっかりと収納  
 落下防止に

スマートフォンが収納可能。  
 FREELY レッグへの取付も可能です。  
 お好きなポジションにお取り付けください。  
 縦横幅を変えることが可能です

釣りで手返しよく  
 ミニマムな動きを実現する小物入れ

小物やガン玉入れにピッタリなケース。  
 FREELY レッグへの取付も可能です。お好きなポジションにお取り付けてください。

ライフジャケットの余ったベルトを  
きれいにまとめる

## BELT STOPPER

ベルトストッパー



ライフジャケットの余ったベルトがスッキリと収まる



販売価格：1,980円(税抜)  
1PAC2個入り  
詳しくは別冊カタログP.18  
もしくはwebサイトへ

FREELY レッグ専用のベルト

## FREELY ベルト

フリーリー ベルト



販売価格：1,980円(税抜)  
詳しくは別冊カタログP.18  
もしくはwebサイトへ



**FREELY** レッグ  
専用ベルト  
ベルトをきれいな方やズリ落ちが気になる方へ。しっかり固定されることで機動性がアップします。

34 オリジナル DVD

『必釣 アジング道(巻)』  
『必釣 アジング道(式)』



詳しくは  
webサイトへ



動画でじっくり研究したい方に向けた集大成！  
全国でセミナーをしたなかでアングラーの疑問を解消する『必釣 アジング道(巻)』『必釣 アジング道(式)』をベテランの方にポイントの見極め方や豆アジの攻略術などを収録した『必釣 アジング道(巻)』など、丁寧に解説！

桜マークで安心、自動膨張のライフジャケット

## 34 LIFE JACKET

サーティフォー ライフジャケット



販売価格：21,000円(税抜)  
詳しくは別冊カタログP.19もしくはwebサイトへ

オカッパリもポートにも使える  
桜マーク付きのライフジャケット  
桜マーク付きのTYPE A ライフジャケット。フィッシングなどさまざまな用途に対応する、ウエストベルトタイプのモデル。シヨアはもちろんポートでも使えます。落水時には水を感じて膨張し、自動用動作索を引けば環境や状況に左右されず、いつでも確実に作動できます。※ハルキーロバーツ社製HR 6F シングルインジケーター付き充気装置を採用。もちろんダストポーチやリーダーケースも取付け可能。

リーダーが最大3つ収納可能

## リーダーケース

リーダーケース



ジョイントラインなどリーダーが最大3個収納可能



リーダーが欲しいときすぐに使える  
アジングに最適なケース  
FREELY レッグやFREELY バッグなどのモールシステムに対応します。ジョイントラインが1個〜3個収納することが出来ます。もちろんライフジャケットやベルトにも取り付け可能です。裏面はモール対応のベルトになっけてベルクロ+ボタン式なのでしっかりと固定することができます。



販売価格：1,650円(税抜)  
詳しくは別冊カタログP.19  
もしくはwebサイトへ

## いくら暖かくても感度が悪ければ意味がない 超高感度グローブⅢ

ちょうこうかんどグローブⅢ



販売価格：6,500円(税抜)  
詳しくは別冊カタログP.19も  
しくはwebサイトへ

温かさや感度という相反する課題を解決した超高感度グローブ

ライトゲーム、特にアジングにおいて感度は絶対的に必要な要素。ついに三作目を迎え、さらなる保温性と使い心地を実現しました。甲側には、チタン合金コーティングラバーを採用。これまでの《Titanium α》に新素材《TACTYWAR》を加えることでさらなる保温性をアップ。掌側には、人工皮革『メアジュ』を採用することで、素手感に近い操作感と高感度を実現。手首部分は縫製を変え、これまでのものより長くスリッポン仕様にする。ことで、フィット感のアップとスムーズな脱着が可能となりました。これまでにない圧倒的な暖かさや使い心地をぜひ体感してください。

魚との繋がりになるルアー

## LINK 50

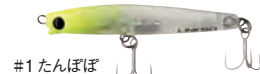
リンク 50



#5はろういん



#1びーだま



#1たんぼぼ



#4ばな



#9わたがし

縦の誘いにも有効！  
上を見て待つメバルに効果あり

マイクロリップで引き抵抗が増したルアー。5色のラインナップを持つシンキングペンシル。最大の特徴はマイクロリップ。これにより引き抵抗をUP。またローボール搭載でナイトゲームにも対応。細身のボディで空気抵抗を抑え、2.7gと軽量ですが、飛距離が出ます。全長50ミリ、シンキング。アクションは動きの小さいタイトロール、フックはカルテイルバスター、26TNの#14。



販売価格：1,300円(税抜)  
詳しくは別冊カタログP.8も  
しくはwebサイトへ

## 春・夏・秋 3シーズン使えるグローブ 超高感度グローブ3SS

ちょうこうかんどグローブ3 SS



販売価格：3,800円(税別)  
詳しくは別冊カタログP.19も  
しくはwebサイトへ



感度を落とさず  
幅広い季節に対応するグローブ

春・夏・秋と3シーズン使用可能なフィッシンググローブ。  
独自技術を駆使して生産したストレッチファブリックが、高いフィット感とこれまでにない肌触りを実現。  
極限まで薄くフィットする素材は、素手のような感覚でまったく感度が落ちることなく、あなたの釣りをサポートしてくれます。  
濡れた状況では抜群のグリップ力を発揮。グリップ力は疲れの軽減にも有効で、シヨアだけではなくポートアジングなどオフシヨアゲームにも最適です。  
また、紫外線やケガ防止にもグローブの着用は大きな役目を果たします。

ターゲットは水面直下に浮いたメバル

## B★M45

ビーエム45



#3わたがし



#6トーチグロ



#8ピーチジュレ



#7レモンジュレ



#9オレンジジュレ



#10パーロソ

可変アクションで  
メバルを魅了する

強波動のウオブリングで魚を寄せ、一字系に近いロールアクションで食わずことができる、「可変アクション機能」を開発・実現しました。状況に応じてファーストリトリリーブとスローリトリリーブを使い分け、ライトソルトゲームを攻略しましょう。  
全長45ミリ、重量2.1g、スローシンキング。フックは#14。アクションは左右に振れたり倒れるような動きのウオブーン&ロール。潜行レンジは約10〜20センチと表層からやや下を潜ります。



販売価格：1,300円(税抜)  
詳しくは別冊カタログP.8も  
しくはwebサイトへ





セミナーの後は海で実際にその内容をレクチャー

会員だけが買える製品や  
イベントへの参加など、会員特典が楽しい!

## CIRCLE34

『34』では、ユーザーの皆さんと、もっと近くで対話ができるメーカーでありたいと考えています。ユーザーさんの声を聞き、求められているものを作りたい。使い手の希望の多くをできるだけ早く反映できるメーカーでありたい。そこでサークルを作り、メーカーとユーザーだけではなく、ユーザーとユーザーの交流もできる場を作りました。それが「サークル34」です。各地で行われるイベントでは、セミナー、大会のほか清掃活動やトークショーなども行われます。詳しくはHPへ



セミナーを全国各地で開催しています。ほかに清掃活動やトークショーなども行われ、スタッフ、ユーザーのコミュニケーションの場でもあります。和気あいあいとアットホームなつながりですが、サークル限定の大会も開催され、各々スキルを磨き合う場として活用しても。



韓国大会を含む9つの大会を勝ち抜いた選手たちが出場した全国大会(2019年)。全国大会では、各地で行われる大会の優勝者が参加して行われる全国大会で日本一を競います。



会員登録はこちらどうぞ

<https://34net.jp/circle34/member/>

# 海外にも広がる34の輪

アジングの人気は国内だけにとどまらず、今や海外にも広がっています。韓国、タイ、マレーシア、シンガポールなどさまざまな国々で34のアイテムを使ってライトゲームが楽しまれています。日本にはないような魚もたくさん釣れており、ますますライトゲームの輪が広がっています。

## in KOREA



アジングの大会「アジングカップ」は韓国やシンガポールでも開催されており34が協賛しています。自分だけで楽しむだけではなく大会でその技術を競い合うという面でもアジングの人気は日本を飛び出し広がっています。今後もどんどん世界中の国々にアジングを広げべく、その魅力を伝えていきたいと考えています。

1. 大会の会場 2. 挨拶をする家邊克己 3. 韓国の出場選手たち



シンガポールでは国で許可されている釣り場が少ないなか、実は釣り好きが多く、街には釣具屋も多い。シンガポールのアングラーの間でも、アジングは注目の釣りだ

1. シンガポールの大会は多くのアングラーが集まった  
2. ポートアジングでの撮影 3. 嬉しいゲストも!

34の活動は各種 SNS でチェックすることができます。フォローしてみてくださいね!

FACEBOOK ページ

・ 34(thirty four)



インスタグラム

・ thirty34four\_staff ……交代制で34スタッフが釣果やイベントでの記録をUP!

・ thirty34four ……34の社員が製品の情報などを投稿!

・ thirty34four\_event ……不定期にイベントや撮影風景などを投稿!



thirty34four\_staff



thirty34four\_



thirty34four\_event





THIRTY FOUR

株式会社 34 (サーティフォー)

〒819-0006 福岡県福岡市西区姪浜駅南3-1-9 第三城南姪浜ビル 2F

TEL : 092-894-2034 FAX : 092-894-2035





<https://34net.jp/>